Multi-Format Processor

マルチフォーマット・プロセッサー
型番：EXT-MFP
取扱説明書

2015年4月版
Release A1

■安全上の注意

この度は Gefen 製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長くご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

●本機を使用中に本体が熱くなりますが、異常ではありません。以下の事項に注意して設置、運用を行ってください。

・本機の周りに放熱を妨げる物を置かないでください。

・本機に長時間、物が触れないようにしてください。

・本機に長時間、手や皮膚が触れないようにしてください。

⚠ 警告 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 必ず付属の電源アダプター、電源コード、専用アタッチメントプラグを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源コード、専用アタッチメントプラグを他の製品で使用しないでください。
- AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源コード・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- 万一、落としたり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- 以下のような場所には設置しないでください。
  直射日光の当たる場所 / 極度の低温または高温の場所 / 湿気の多い場所 / ほこりの多い場所 / 振動の多い場所 / 風通しの悪い場所
- 配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

■使用上の注意

- 2 チャンネルのアナログ入力からの音声は自動的に HDMI 出力信号へエンベデッドされます。
- EXT-MFP はソースまたは表示機器との接続が切断された時や映像出力の設定を変更した際、初期設定では現在の入出力解像度を表示します。この機能は「表示の通知」オプションで無効にできます。詳しくは「表示の通知」やコマンド「#set_display_notify」（52 ページ）をご参照下さい。
- 常に最新のファームウェアをインストールしてご使用ください。ファームウェアを自動でダウンロード/インストールできる Gefen のソフトウェア「Syner-G Software Suite」を無料で提供しております。Gefen ホームページ（http://www.gefen.com/support/download.jsp）からダウンロードできますので是非ご利用下さい。

■目次

■安全上の注意 2
■使用上の注意
■目次 3
◆はじめに
■各部の名称 4
●本体
●IRリモコン 5
●IRリモコンの電池交換
●IRチャンネルの設定
■接続方法 6
◆基本操作 7
■フロントパネルの操作
●電源を入れる
●ビデオ入力の選択
●音声入力の選択
■IRリモコンを使用する
●メニューシステムへのアクセス 8
●出力解像度の設定
●入出力解像度の表示
●コントラストの調節 9
●輝度の調節
●サチュレーションの調節 10
●色合いの調節
●カラーレンジの調節 11
●色温度の調節 12
●カラーバランスの調節
●シャープネスの調節 13
●サイズの自動調整 14
●位相の調節
●垂直位置の調節 15
●水平位置の調節
●アンダースキャン/
オーバースキャンの調節 16
●アスペクト比の調節 17
●HDCP
●HPDパルスの送信 18
●アナログ音声出力を有効/無効にする 19
●アナログ音声モードの設定
●音声の割り当て 20
●IP設定の変更
●システム設定の変更 21
●OSD表示時間(OSD) 22
●情報表示
●電力の低減
●戻り値の設定
●入力解像度の情報表示
●ファームウェアのバージョン
●IRチャンネルの設定
●ファクトリデフォルトの実行
■制御方法
●リレー制御/RS-232制御/IP制御 23
■Syner-G Discovery Tool
■ウェブインターフェース 24
●ウェブインターフェースの使用方法
●Main
●Status 25
●Setup ⇒ Output 26
●Setup⇒Picture 27
●Setup⇒Input 28
●Setup⇒Audio 29
●Setup⇒Names 31
●Setup⇒HPD Pulse
●Setup⇒HDCP 32
●Manage EDID⇒EDID Mode
●Manage EDID⇒EDID Copy 33
●Manage EDID⇒EDID Info
●Manage EDID⇒Edit Bank Names 34
●Manage EDID⇒Upload/Download
●Network⇒IP Settings 35
●Network⇒TCP/Telnet Settings
●Network⇒UDP Settings 36
●Network⇒Web Login Settings
●Network
⇒Discovery Protocol Settings 37
●System 38
◆高度な操作 40
■RS-232インターフェース
●RS-232インターフェース
●RS-232の設定
■IP制御(Telnet/TCP/UDP)
■コマンド 41
◆付録 54
■デフォルト設定
■ラックマウントの設置方法
■仕様 55

◆はじめに

■製品の特長

- 映像と音声は単独で切り替え可能。
- デジタル映像入力 / 出力の最大解像度：1080p フル HD と 1920 × 1200（WUXGA）
- HDCP に準拠。
- 映像入力:HDMI、DVI-D（HDMI 互換）、ディスプレイポート、VGA（コンポーネント互換）、コンポジット
- ディスプレイポート入力は Mac/PC コンピューターと互換性があります
- 音声入力：HDMI、DVI、DP、TOSLINK®、同軸、2 ×アナログ
- 割り当て可能なアナログ L/R、TOSLINK®、同軸（S/PDIF）音声入力
- オンスクリーンメニュー（OSD）やウェブサーバインターフェース経由で簡単セットアップ / 操作
- Telnet/UDP/ ウェブサーバインターフェース経由で IP 制御
- RS-232 シリアルインターフェースでコントロールシステムと連携
- 単独で IR 制御可能（最大 4 チャンネル）
- パスワード保護機能（user/admin）
- EDID マネージメント機能を搭載
- 入力名の表示を変更可能（ウェブサーバインターフェース経由）
- システム構成のアップロード / ダウンロード機能
- ロック式電源
- ラックマウント可能（EXT-RACK-1U-GRY を使用）。
- L 字ブラケットを付属

■梱包内容の確認

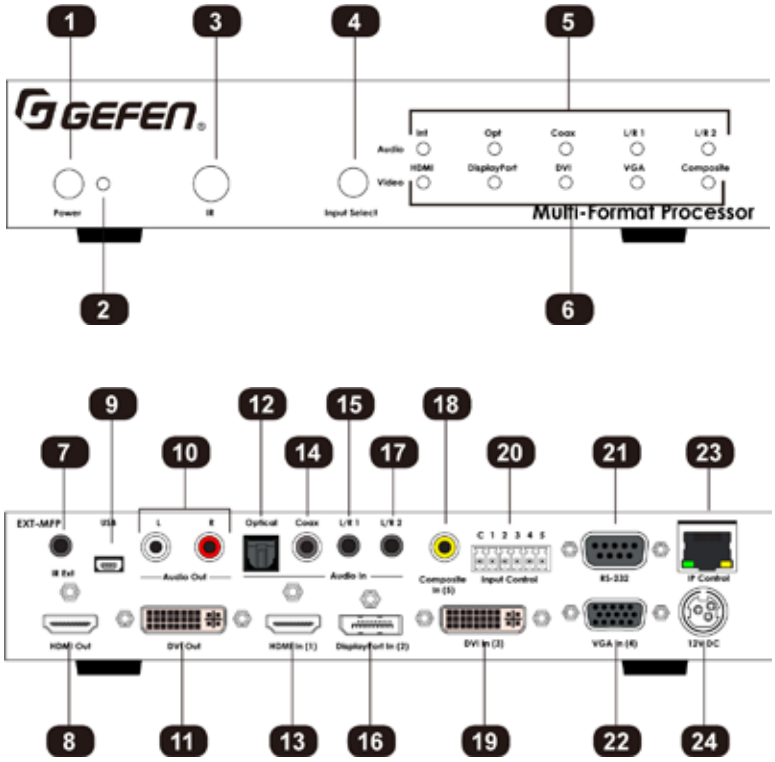
万が一足りないものがありましたら、購入された販売店までご連絡ください。

- EXT-MFP 本体× 1
- 6 ピン Phoenix プラグ× 1
- L 型ブラケット× 2
- L 型ブラケット用ネジ× 4
- マウント用ネジ× 2
- 滑り止めゴム足× 4
- IR リモコン× 1
- 電源アダプター× 1

◆はじめに

■各部の名称

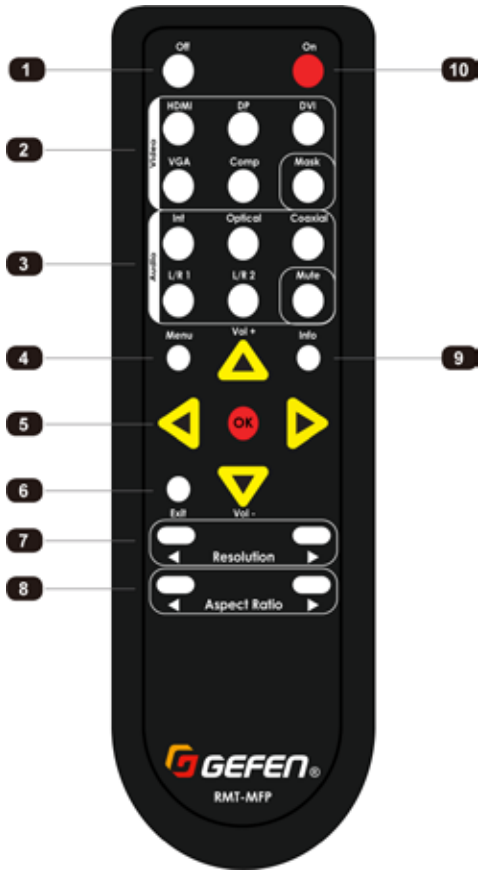
●本体



①電源スイッチ	本体の電源をオン / オフします。
②電源インジケーター	本体の電源がオンのとき青く点灯します。
③ IR 受光部	付属の IR リモコンから信号を受信します。
④入力選択ボタン	ボタンを押してビデオ入力を選択します。単独で音声入力を選択でき、ビデオ入力に割り当てることもできます。詳しくは 29 ページ「●Setup ⇒ Audio」をご参照下さい。
⑤音声インジケーター	選択している音声入力の LED インジケーターが青く点灯します。
⑥ビデオインジケーター	選択しているビデオ入力の LED インジケーターが青く点灯します。
⑦ IR Ext 端子	別売の Gefen IR 延長受光部（EXT-RMT-EXTIRN）を接続します。
⑧ HDMI 出力端子	HDMI ケーブルを使用して、HD ディスプレイに接続します。HDMI 出力に音声をエンベンデッドできます。
⑨ USB 端子	ファームウェアアップグレード用 mini-USB 端子です。
⑩音声出力端子	RCA タイプケーブル（ペア）を使用して、オーディオアンプ（L と R 端子）に接続します。
⑪ DVI 出力端子	DVI ケーブルを使用して、HD ディスプレイに接続します。
⑫オプティカル出力端子	光音声ケーブルを使用して、TOSLINK 端子にオーディオアンプを接続します。

⑬ HDMI 入力端子（1）	HDMI ケーブルを使用して、HD ソース機器に接続します。変換アダプターを使用して、DVI ソース機器を接続することもできます。
⑭音声入力端子 (同軸)	RCA ケーブルを使用して、ソース機器のデジタル出力に接続します。
⑮音声入力端子 (L/R 1)	3.5mm ステレオミニ・ケーブルを使用して、ソース機器の音声出力に接続します。
⑯ディスプレイポート入力端子（2）	ディスプレイポート･ケーブルを使用して、ソース機器に接続します。
⑰音声入力端子 (L/R 2)	3.5mm ステレオミニ・ケーブルを使用して、ソース機器の音声出力に接続します。
⑱コンポジット入力端子(5)	RCA タイプケーブルを使用して、ソース機器のコンポジットビデオ出力に接続します。
⑲ DVI 入力端子（3）	DVI ケーブルを使用して、DVI ソース機器を接続します。アダプターを使用して、音声付 HDMI ソース機器を接続することもできます。
⑳ Input Control(リレー)	リレー制御より、ビデオ入力を切り替えることが可能です。詳しくは 22 ページ「●リレー制御」をご参照下さい。
㉑ RS-232 端子	RS-232 ケーブルを使用して、RS-232 制御機器に接続します。
㉒ VGA 入力端子（4）	付属の VGA ケーブルを使用して、VGA ソース機器を接続します。
㉓ IP 制御端子	CAT-5e（またはそれ以上）ケーブルを使用して、ネットワークに接続します。
㉔電源端子	付属の電源アダプターを接続します。

● IR リモコン



① Off	本体をスタンバイモードに切り替えます。
② Video	ビデオ入力（割り当てられている音声を含め）を選択します。「Mask」はビデオ出力をマスキング（オフ）します。
③ Audio	音声入力を選択します。ビデオソースは切り替りません。「Mute」は音声をミュートします。
④ Menu	オンスクリーンメニューが表示されます。
⑤矢印	オンスクリーン表示を操作します。オンスクリーン表示がアクティブの場合、▲▼ボタンは音量調整に使用します。
⑥ Exit	オンスクリーンメニューの「back up」に戻るか、もしくはメニューを終了します。
⑦ Resolutions	使用可能な解像度を選択します。
⑧ Aspect Ratio	使用可能なアスペクト比を選択します。
⑨ Info	システムのステータスがオンスクリーン表示に表示されます。
⑩ On	本体の電源をオンにします。

● IR リモコンの電池交換

① 単４形乾電池を使用します。電池カバーを取り外します。

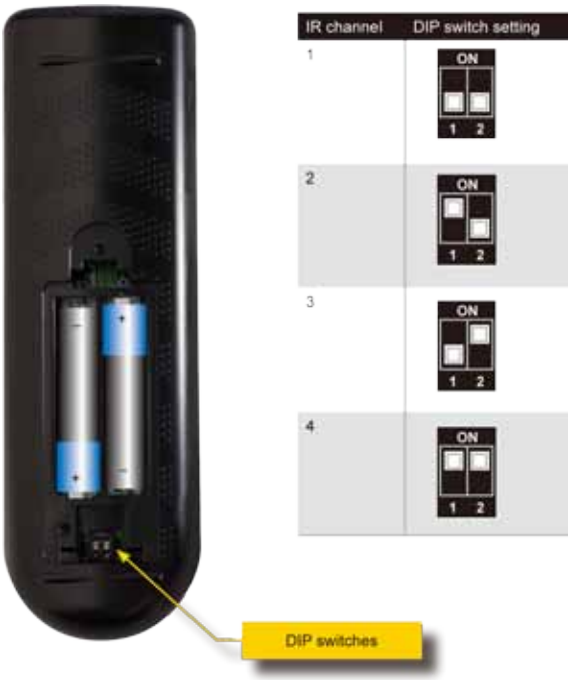
② 電池の極性を確認して電池を取り付けます。

③ 電池カバーを取り付けます。

誤った種類の電池を使用すると、電池が破裂する恐れがあります。十分にご注意ください。また使用後の電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。

● IR チャンネルの設定

IR リモコンが正しく動作するためには、EXT-MFP 本体と IR リモコンの IR チャンネルを一致させる必要があります。



① IR リモコンの電池カバーを取り外します。

② 電池の収納部の下に DIP スイッチがあります。

③ 右上の表に従って、IR リモコンの IR チャンネルを設定します。

④ 電池カバーを取り付けます。

■接続方法

●映像の接続

① ビデオ入力信号用のケーブルを使用して、ビデオソース機器に接続します。HDMI、ディスプレイポートと DVI 入力は音声をエンベンデッドすることができます。変換ケーブルまたはアダプターを使用して HDMI ソース機器を DVI 入力端子に接続する場合も、DVI 入力は音声に対応しています。なお、VGA 入力とコンポジット入力は外部音声入力が必要です。

② HDMI 出力端子と DVI 出力端子をそれぞれ HD ディスプレイと接続します。それぞれの端子からは同じ映像が出力されます。

●音声の接続

③ 音声ケーブルを使用して、音声入力端子に音声ソース機器を接続します。音声入力は単独で切り替えることができ、また特定のビデオ入力に割り当てることもできます。

④ アナログ音声出力にオーディオアンプやスピーカーを接続します。また、HDMI 出力経由でディスプレイのスピーカーに音声を出力することもできます。

出力する音声は、選択中のデジタルビデオソースのエンベンデッド音声、もしくは単独の音声ソース機器のみ選択可能です。
（例：DP 映像を表示しながら HDMI 音声を出力することはできません）

●制御のオプション

⑤ ネットワークケーブルを使用して、IP 制御用端子に LAN ネットワークを接続します。ユーザは接続されている LAN ネットワーク経由で本体を制御することができます。

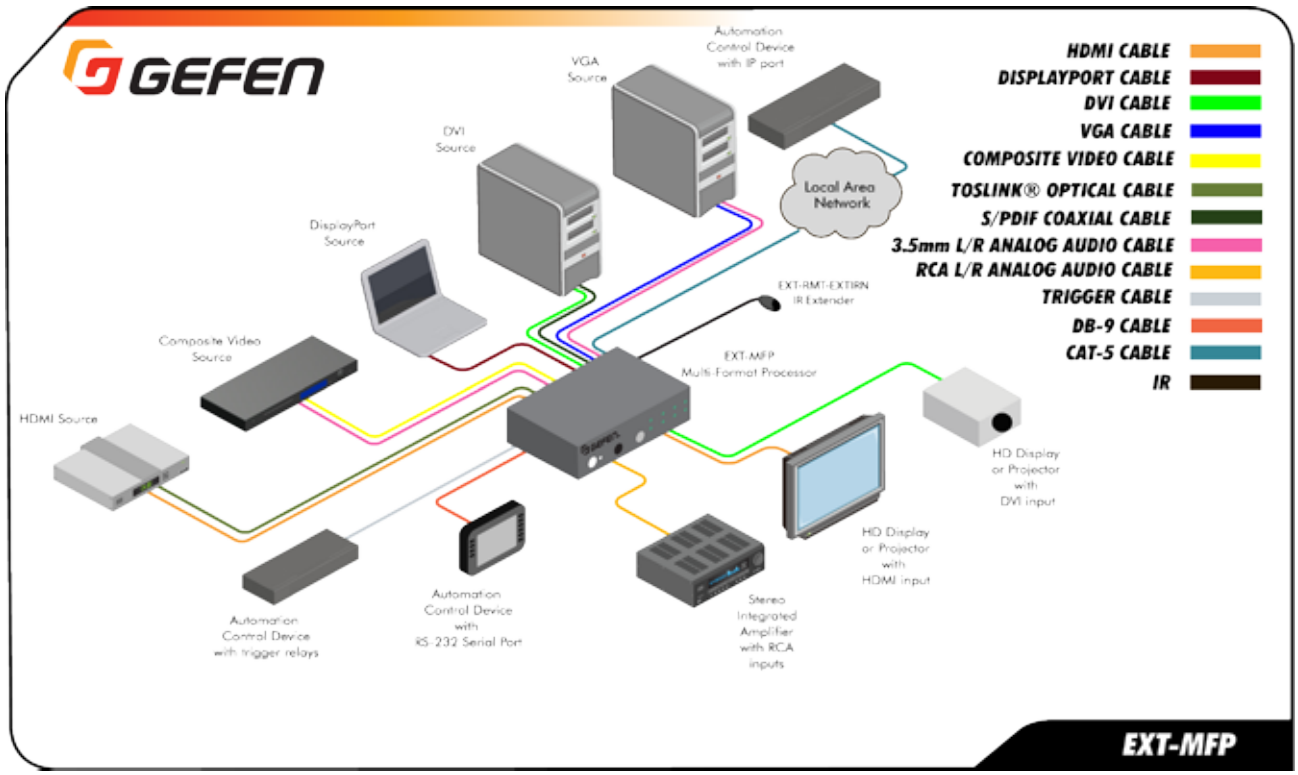
⑥ RS-232 入力に RS-232 対応の外部制御機器またはコントロールシステムを接続できます。

⑦ 入力制御ターミナルにリレープッシュボタンを接続できます。

⑧ IR Ext 端子に IR 延長機（別売の EXT-RMT-EXTIRN）を接続できます。

●電源

⑨ 付属の電源を 12V DC 電源端子に接続し、電源コードをコンセントに接続します。



◆基本操作

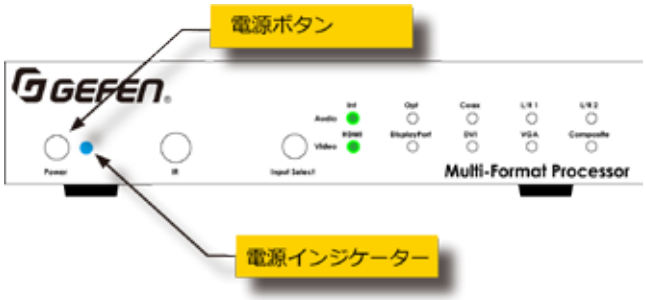
■フロントパネルの操作

●電源を入れる

① 付属の電源アダプターを本体の電源端子に接続し、電源コードをコンセントに接続していることをご確認ください。

② フロントパネルの電源ボタンを押します。

③ 電源インジケーターが青く点灯します。



④ EXT-MFP の電源を切る場合、「POWER」ボタンを押します。

⑤ 電源インジケーターは赤く点灯します。

付属の IR リモコン、ウェブ GUI または外部制御機器（RS-232 または IP Telnet 経由）経由で EXT-MFP の電源をオンオフすることができます。

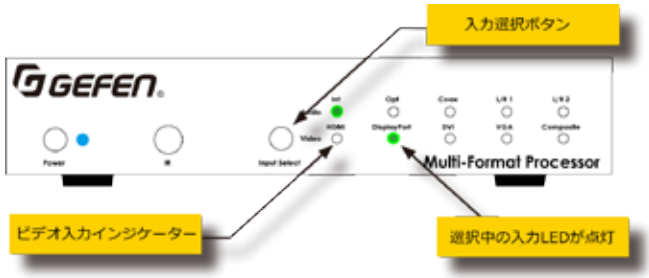
●ビデオ入力の選択

EXT-MFP は、5 系統のビデオソースを切り替えることが可能です。デフォルト設定として、HDMI 端子がアクティブとなります。ビデオ入力は HDMI > DisplayPort > DVI > VGA >コンポジットの順で切り替ります。

なお、選択した入力はラストメモリされています。

①「Input Select」ボタンを押して、入力を切り替えます。

② アクティブになった入力のインジケーターは青く点灯します。例えば、以下の例では、「DisplayPort」入力のインジケーターが点灯しています。



③「Input Select」ボタンを押して、次の入力（DVI）を切り替えます。点灯する入力インジケーターは左から右へ移行します。

④ 希望する入力に切り替るまで繰り返し「Input Select」ボタンを押します。

⑤「Composite」入力が選択され、次に「Input Select」ボタンを押すと、「HDMI」入力に戻ります。

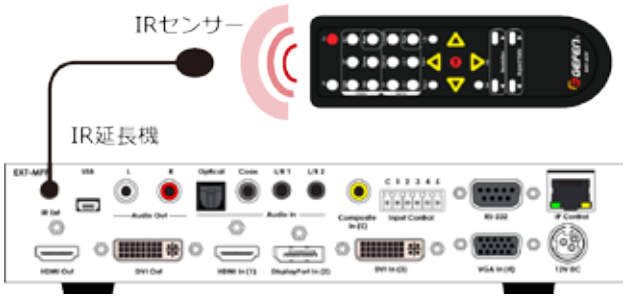
付属の IR リモコン、ウェブ GUI、外部制御機器（RS-232 または IP Telnet 経由）またはリアパネルにあるリレーターミナル経由で EXT-MFP の入力を切り替えることが可能です。

●音声入力の選択

ビデオ入力と連動する音声入力を設定します。詳しくは 20 ページ「●音声の割り当て」または 24 ページ「● Main」をご参照下さい。

■ IR リモコンを使用する

IR リモコン経由で EXT-MFP を操作できます。EXT-MFP の IR 受光部に付属の IR リモコンを向け操作します。EXT-MFP の受光部へ、IR リモコンからの信号が届かない場合（例えば、本体をラックに収納した場合）別売の Gefen IR 延長機（EXT-RMT-EXTIR）を、リアパネルにある「IR Ext」端子に接続することで IR 受光部を延長することが可能です。



●メニューシステムへのアクセス

メニューシステムにアクセスするには付属のIRリモコンが必要です。メニューシステムから音声と映像を操作 / 管理することができます。

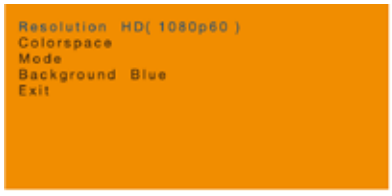
メニューシステムにアクセスするには、まずIRリモコンの「Menu」ボタンを押します。デフォルト設定ではメニューシステムは5秒間表示されます。表示時間を変更できます。詳しくは 38ページ「● System」をご参照下さい。

●出力解像度の設定

この設定を変更する前に、選択したい解像度を表示機器がサポートしているか確かめ下さい。

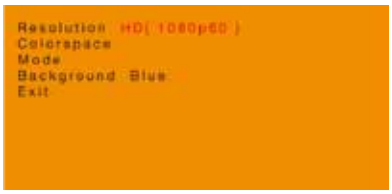
① IRリモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションが青くハイライトされます。

② 「OK」ボタンを押すと「Resolution」オプションが表示され、現在の出力解像度が表示されます。

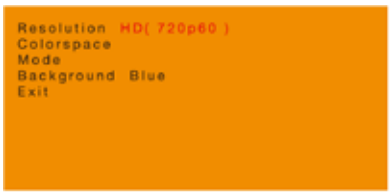


③ 再度「OK」ボタンを押して、「Resolution」オプションを選択します。

④ 現在の出力解像度が赤くハイライトされます。



⑤ ▲▼◀▶ボタンを使用して、出力解像度を選択します。



選択可能な出力解像度は以下の通りです。

param1	説明	param1	説明
0	Auto-Detect	14	SD (480i) 60Hz
1	640x480 60Hz	15	SD (576i) 50Hz
2	800x600 60Hz	16	SD (480p) 60Hz
3	1024x768 60Hz	17	SD (576p) 50Hz
4	1280x768 60Hz	18	HD (720p) 60Hz
5	1280x800 60Hz	19	HD (720p) 50Hz
6	1280x1024 60Hz	20	HD (1080i) 60Hz
7	1360x768 60Hz	21	HD (1080i) 50Hz
8	1366x768 60Hz	22	HD (1080p) 60Hz
9	1440x900 60Hz	23	HD (1080p) 50Hz
10	1400x1050 60Hz	24	HD (1080p) 25Hz
11	1600x900 60Hz	25	HD (1080p) 24Hz
12	1680x1050 60Hz	26	HD (1080p) Auto Refresh
13	1920x1200 60Hz		

⑥ 「OK」ボタンを押して、選択した出力解像度を確定します。

⑦ 出力の解像度が変更されると、表示は一度消え、再度表示します。

⑧ 出力の解像度を変更すると、画面左上角に下記情報が表示されます（解像度の情報は選択された解像度によって異なります）。

「Resolution」の◀▶ボタンを使用して、出力解像度を変更することが可能です。

オンスクリーン表示の表示時間は変更することができます。詳しくは 38ページ「● System」をご参照下さい。

●入出力解像度の表示

① IRリモコンの「Info」ボタンを押します。

② 画面左上角に情報表示が表示されます。

③ 情報表示は自動的に消えます。表示時間中に情報表示を終了するには、再度「Info」ボタンを押します。

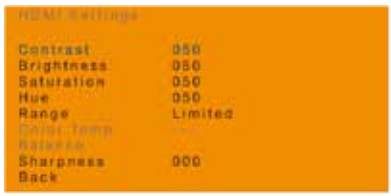
表示時間の設定について、詳しくは 38 ページ「● System」をご参照下さい。

●コントラストの調節

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

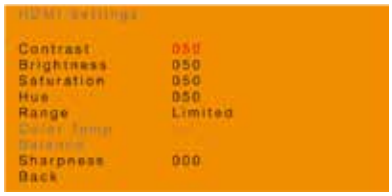
② ▲▼ボタンを使用して、「Picture」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「Contrast」オプションがハイライトされます。

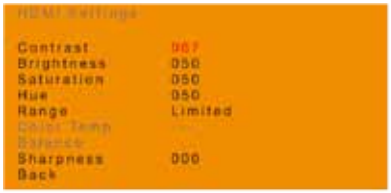


④ 再度「OK」ボタンを押して、「Contrast」オプションを選択します。

⑤ 現在のコントラスト値は赤くハイライトされます。



⑥ ▲▼◀ ▶ボタンを使用して、コントラスト値を設定します。コントラストの設定範囲は 0 ～ 100 となります。



⑦「OK」ボタンを押して選択されたコントラスト設定を決定します。

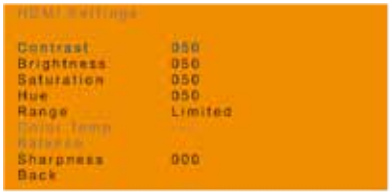
⑧ メニューに戻るには、▲▼ボタンを使用して、「Back」オプションを選択し「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押しても、メニューに戻ることができます。

●ブライトネスの調節

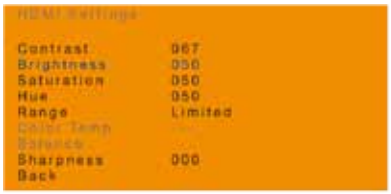
① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Picture」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「Contrast」オプションがハイライトされます。



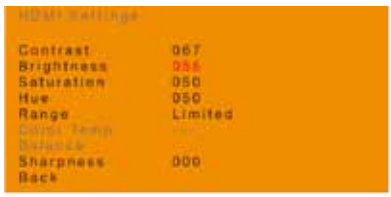
④「OK」ボタンを押すと、「Brightness」オプションがハイライトされます。



⑤ 再度「OK」ボタンを押して、「Brightness」オプションを選択します。

⑥ 現在のブライトネス値が赤くハイライトされます。

⑦ ▲▼◀ ▶ボタンを使用して、ブライトネス値を設定します。ブライトネスの調整範囲は 0 ～ 100 となります。



⑧「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。

⑨ メニューに戻るには、▲▼ボタンを使用して、「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押しても、メニューに戻ることができます。

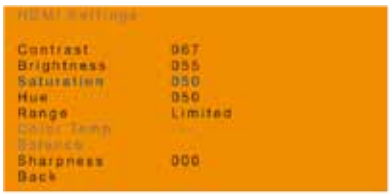
●サチュレーションの調節

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Picture」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「Contrast」オプションがハイライトされます。

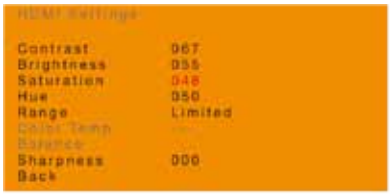
④ ▲▼ボタンを押して、「Saturation」をハイライトします。



⑤ 再度「OK」ボタンを押して、「Saturation」オプションを選択します。

⑥ 現在のサチュレーション値が赤くハイライトされます。

⑦ ▲▼◀ ▶ボタンを使用して、サチュレーション値を設定します。調整範囲は 0 ～ 100 となります。



⑧「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。

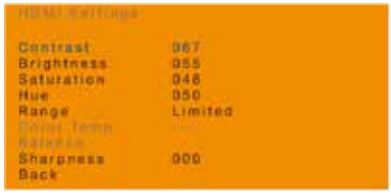
⑨ メニューに戻るには、▲▼ボタンを使用して「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押しても、メニューに戻ることができます。

●色合いの調節

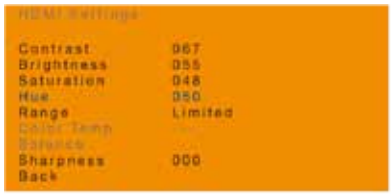
① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Picture」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「Contrast」オプションがハイライトされます。



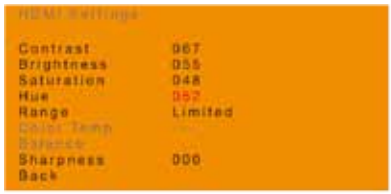
④ ▲▼ボタンをして「Hue」をハイライトします。



⑤ 再度「OK」ボタンを押して、「Hue」オプションを選択します。

⑥ 現在の値が赤くハイライトされます。

⑦ ▲▼◀▶ボタンを使用して、色合い値を設定します。調整範囲は 0 ～ 100 となります。



⑧「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。

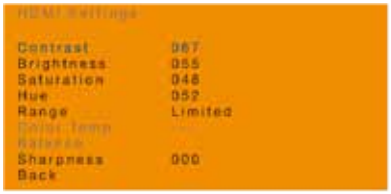
⑨ メニューに戻るには、▲▼ボタンを使用して「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。もしくは、「Menu」ボタンを押して、メニューに戻る事も可能です。

●カラーレンジの調節

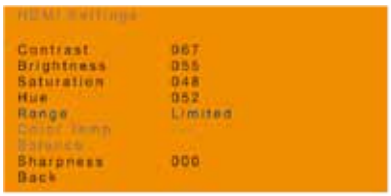
① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Picture」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「Contrast」オプションがハイライトされます。



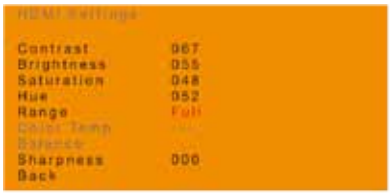
④ ▲▼ボタンを使用して、「Range」をハイライトします。



⑤「OK」ボタンを押して、「Range」オプションを選択します。

⑥ 現在のカラーレンジが赤くハイライトされます。

⑦ ▲▼◀▶ボタンを使用して、「Limited」または「Full」を設定します。



⑧「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。

⑨ メニューに戻るには▲▼ボタンを使用して、「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押しても、メニューに戻ることができます。

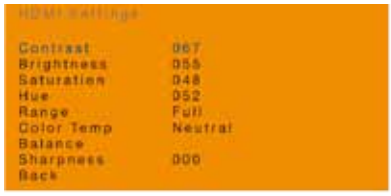
●色温度の調節

VGA 入力を選択する場合のみ、メニューオプション「Color Temperature」が有効になります。

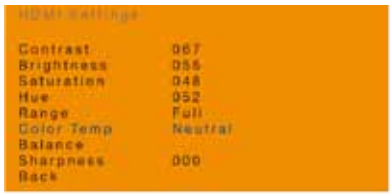
① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Picture」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「Contrast」オプションがハイライトされます。



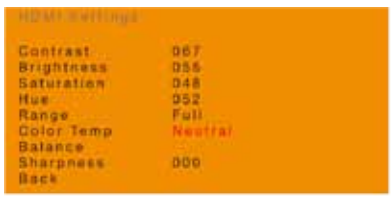
④ ▲▼ボタンを使用して、「Color Temp」をハイライトします。



⑤「OK」ボタンを押して、「Color Temp」オプションを選択します。

⑥ 現在の色温度値が赤くハイライトされます。

⑦ ▲▼◀▶ボタンを使用して、「Neutral」、「Warm」、「Cool」または「User」を選択します。



>>Warm

画像の色温度を赤にシフトします（～ 3,000K）。

>>Cool

画像の色温度を青にシフトします（～ 8,000K）。

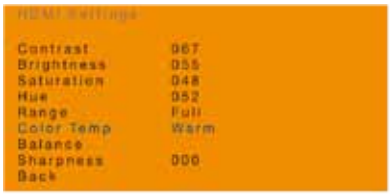
>>Neutral

画像の色温度を変更しません。

>>User

単独で RGB 値を設定することが可能です。詳しくは、12 ページ「カラーバランスの調節」をご参照下さい。

⑧「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。



⑨ メニューに戻るには、▲▼ボタンを使用して「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押して、メニューに戻ることもできます。

●カラーバランスの調節

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Picture」オプションを選択します。

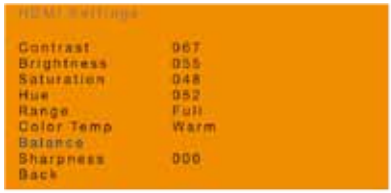
「Color Temperature」が「User」に設定されている場合のみ、このメニューオプションは有効になります。詳しくは 12 ページ「色温度の調節」をご参照下さい。

③「OK」ボタンを押すと、「Contrast」オプションがハイライトされます。

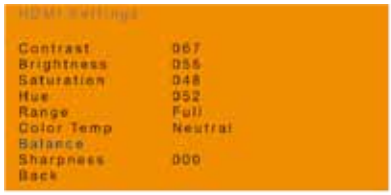
④ ▲▼ボタンを使用して、「Color Temp」オプションを選択します。

⑤「Color Temperature」を「User」に設定します。詳しくは 12 ページ「色温度の調節」をご参照下さい。

⑥「Color Temperature」オプションを設定した後に、メニューに戻り、▲▼ボタンを押して、「Balance」をハイライトします。



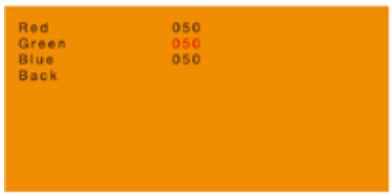
⑦「OK」ボタンを押して、「Balance」オプションを選択します。



⑧ 現在の「Balance」画面が表示され、各色チャンネルの設定値が表示されます。「Red」オプションがハイライトされています。

⑨ ▲▼ボタンを使用して、変更する色チャンネルを選択します。

⑩「OK」ボタンを押して、ハイライトされた色チャンネルを選択します。現在の設定値は赤くハイライトされます。この例では、「Green」チャンネルを選択しました。



⑪ ▲▼◀▶ボタンを使用して、色チャンネルを設定します。色チャンネルは調整範囲 0 ～ 100 となります。

⑫「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。

⑬ 必要に応じて、各チャンネルに対し、手順⑨～⑪を繰り返します。

⑭ メニューに戻るには▲▼ボタンを使用して「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押しても、メニューに戻ることができます。

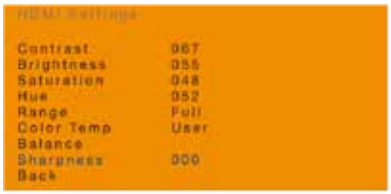
●シャープネスの調節

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Picture」オプションを選択します。

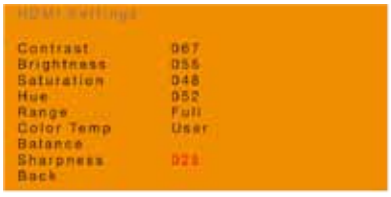
③「OK」ボタンを押すと、「Contrast」オプションがハイライトされます。

④ ▲▼ボタンを使用して、「Sharpness」をハイライトします。



⑤ 再度「OK」ボタンを押して、「Sharpness」オプションを選択します。
⑥ 現在のシャープネス値が赤くハイライトされます。

⑦ ▲▼◀▶ボタンを使用して、シャープネス値を設定します。調整範囲は 0 ～ 100 となります。



⑧「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。

⑨ メニューに戻るには▲▼ボタンを使用して、「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押しても、メニューに戻ることができます。

●サイズの自動調整

「Auto Size」（サイズの自動調整）機能は VGA 入力信号のクロックと位相を自動的に調節します。画像の位置がずれている場合、この機能を使用して、位置を調節します。

VGA 入力を選択している場合のみ、メニューオプション「Autosize」が有効になります。

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

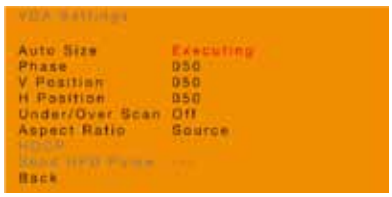
② ▲▼ボタンを使用して、「Adjust」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「VGA Settings」は表示されます。

④「Auto Size」値が赤くハイライトされます。

⑤ 再度「OK」ボタンを押して、「Auto Size」機能を実行します。

⑥「Auto Size」の横に「Executing」が赤く表示されます。



処理が完了するとメッセージ「Executing」が消えます。

⑦ メニューに戻るには▲▼ボタンを使用して、「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押しても、メニューに戻ることができます。

●位相の調節

VGA 入力を選択している場合のみ、メニューオプション「Phase」が有効になります。

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

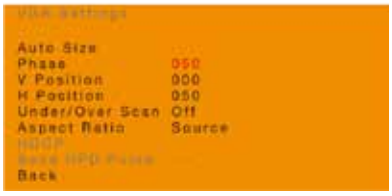
② ▲▼ボタンを使用して、「Adjust」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「VGA Settings」オプションが表示され、「Auto Size」オプションがハイライトされます。

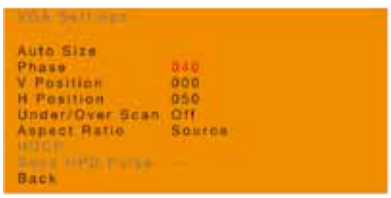
④ ▲▼ボタンを使用して、「Phase」オプションをハイライトします。

⑤ 再度「OK」ボタンを押して、「Phase」機能を実行します。

⑥ 現在の位相値が赤くハイライトされます。



⑦ ▲▼◀ ▶ボタンを使用して、位相を設定します。位相の調整範囲は 0 ～ 100 となります。



⑧「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。

⑨ メニューに戻るには、▲▼ボタンを使用して「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押しても、メニューに戻ることができます。

●垂直位置の調節

VGA 入力を選択している場合のみ、メニューオプション「V Position」が有効になります。

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Adjust」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「VGA Settings」オプションが表示され、「Auto Size」オプションがハイライトされます。

④ ▲▼ボタンを使用して、「V Position」オプションを選択します。

⑤ 再度「OK」ボタンを押して、「V Position」オプションを実行します。

⑥ 現在の設定値が赤くハイライトされます。

⑦ ▲▼◀ ▶ボタンを使用して、位置を設定します。位置の調整範囲は 0 ～ 100 となります。数値を上げると画像は上方向に移動します。

⑧「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。

⑨ 前の画面に戻るには、▲▼ボタンで「Back」オプションを選択し「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押してメニューに戻ることもできます。

●水平位置の調節

VGA 入力を選択している場合のみ、メニューオプション「H Position」が有効になります。

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

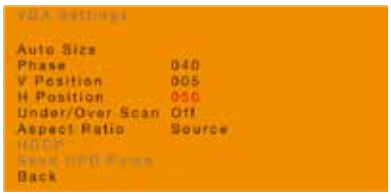
② ▲▼ボタンを使用して、「Adjust」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「VGA Settings」オプションが表示され、「Auto Size」オプションがハイライトされます。

④ ▲▼ボタンを使用して、「H Position」オプションを選択します。

⑤ 再度「OK」ボタンを押して、「H Position」オプションを実行します。

⑥ 現在の設定値が赤くハイライトされます。



⑦ ▲▼◀ ▶ボタンを使用して、位置を設定します。位置の調整範囲は 0 ～ 100 となります。50 より下げると画像は左方向に移動し、50 より上げると画像は右方向に移動します。

⑧「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。

⑨ メニューに戻るには、▲▼ボタンを使用して「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押して、メニューに戻ることもできます。

●アンダースキャン / オーバースキャンの調節

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Adjust」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「Auto Size」オプションがハイライトされます。

④ ▲▼ボタンを使用して、「Under/Over Scan」オプションを選択します。

⑤ 再度「OK」ボタンを押して、「Under/Over Scan」オプションを実行します。

⑥ 現在の設定値が赤くハイライトされます。

⑦▲▼◀ ▶ボタンを使用して、設定します。

>>Off

アンダースキャン / オーバースキャンは無効になります。これがデフォルト設定となります。

>>Under1, Under2, Under3

アンダーススキャンは有効になります（3%、6%、9%）。

>>Over1, Over2, Over3

オーバースキャンは有効になります（3%、6%、9%）。

⑧「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。

⑨ メニューに戻るには、▲▼ボタンを使用して、「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押して、メニューに戻ることもできます。

●アスペクト比の調節

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Adjust」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「Auto Size」オプションがハイライトされます。

④ ▲▼ボタンを使用して、「Aspect Ratio」オプションを選択します。

⑤ 再度「OK」ボタンを押して、「Aspect Ratio」オプションを実行します。

⑥ 現在の設定値が赤くハイライトされます。

⑦ ▲▼◀▶ボタンを使用して、設定します。

>>Source

入力信号と同じアスペクト比で映像を出力します。これがデフォルト設定となります。

>>16:9

アスペクト比を 16:9 に設定します。

>>4:3

アスペクト比を 4:3 に設定します。入力信号と表示機器によっては、出力のアスペクト比が最大 12%ずれることがあります。

>>Stretch

表示画面に合わせ、入力信号のピクセルが伸ばされます。

⑧「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。

「Aspect Ratio」にて◀▶タンを使用して、アスペクト比を変更することができます。

⑨ メニューに戻るには▲▼ボタンを使用して、「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押して、メニューに戻ることもできます。

● HDCP

HDCP 対応の表示機器を認識すると HDCP を有効にするソース（例：コンピュータ）があります。HDMI 入力の HDCP 機能を「On」に設定すると、HDCP はパススルーされます。「Off」に設定すると、HDCP コンテンツが表示されなくなります。

HDMI 入力を選択している場合のみ、メニューオプション「HDCP」が有効になります。なおこの機能で HDCP 保護を解除することはできません。

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Adjust」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「Under/Over Scan」オプションが表示され、「Auto Size」オプションがハイライトされます。

④ ▲▼ボタンを使用して、「HDCP」オプションを選択します。

⑤ 再度「OK」ボタンを押して、「HDCP」オプションを実行します。

⑥ 現在の設定値が赤くハイライトされます。

⑦ ▲▼◀▶ボタンを使用して、「On」または「Off」を選択します。

⑧「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。

⑨ メニューに戻るには▲▼ボタンを使用して、「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押して、メニューに戻ることもできます。

● HPD パルスの送信

入力の HPD ラインに HPD（Hot-Plug Detect）信号パルスを送信します。この機能はソースと EXT-MFP 間のケーブルを物理的に抜き差しすることと同じ動作を行います。

HDMI 入力を選択している場合のみ、メニューオプション「Send HPD Pulse」が有効になります。

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

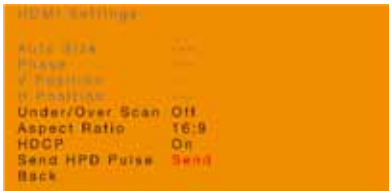
② ▲▼ボタンを使用して、「Adjust」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「Under/Over Scan」オプションがハイライトされます。

④ ▲▼ボタンを使用して、「Send HPD Pulse」オプションを選択します。

⑤ 再度「OK」ボタンを押して、「Send HPD Pulse」オプションを実行します。

⑥「Send HPD Pulse」オプションの横に「Send」が赤く表示されます。



⑦ 再度「OK」ボタンを押して、「Send HPD Pulse」オプションを実行します。

⑧ 画面は暫く点滅します。

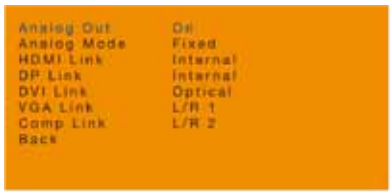
⑨ メニューに戻るには▲▼ボタンを使用して、「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押して、メニューに戻ることもできます。

●アナログ音声出力を有効 / 無効にする

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Audio」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押して、「Analog Out」オプションはハイライトされます。



③ 再度「OK」ボタンを押して、「Analog Out」オプションを選択します。

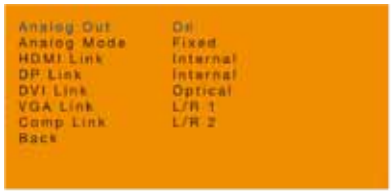
④ ▲▼◀▶ボタンを使用して、「On」または「Off」を選択します。

>>On

アナログ音声出力を有効にします。

>>Off

アナログ音声出力を無効にします。



⑤「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。

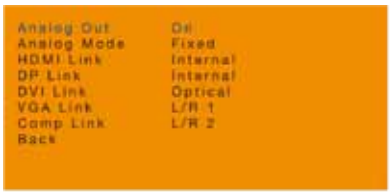
⑥ メニューに戻るには、▲▼ボタンを使用して、「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押して、メニューに戻ることもできます。

●アナログ音声モードの設定

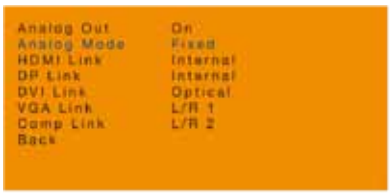
① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Audio」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「Analog Out」オプションはハイライトされます。



④ ▲▼ボタンを使用して、「Analog Mode」オプションを選択します。



⑤ 再度「OK」ボタンを押して、「Analog Mode」オプションを選択します。

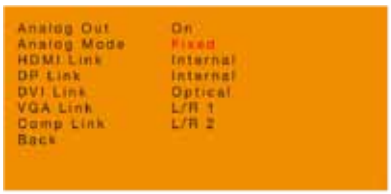
⑥ ▲▼◀▶ボタンを使用して、「Fixed」または「Variable」を選択します。

>>Fixed

EXT-MFP が音声の出力レベルを制御します。これがデフォルト設定となります。

>>Variable

ソース機器が音声の出力レベルを制御します。



⑦「OK」ボタンを押して、選択した設定を確定します。

⑧ メニューに戻るには▲▼ボタンを使用して、「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押して、メニューに戻ることもできます。

●音声の割り当て

この機能により、各ビデオ入力へ単独に音声を割り当てることが可能です。「No Audio」が設定された場合、そのビデオ入力が選択されると音声はミュートとなります。「No Change」が設定された場合、ビデオ入力の切り替えにかかわらず、音声ソースは切り替わりません。詳しくは内蔵ウェブブラウザの 29 ページ「● Setup ⇒ Audio」をご参照下さい。

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Audio」オプションを選択します。

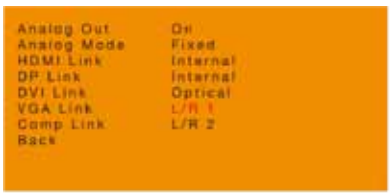
③「OK」ボタンを押すと、「Analog Out」オプションはハイライトされます。

④ ▲▼ボタンを使用して、音声を割り当てる映像ソースをハイライトします。下表では、各ビデオ入力に割り当て可能な音声を記載しております。

音声	HDMI	DisplayPort	DVI	VGA	コンポジット
Internal	可	可	可 *	不可	不可
Optical	可	可	可	可	可
Coaxial	可	可	可	可	可
L/R 1	可	可	可	可	可
L/R 2	可	可	可	可	可
No Audio	可	可	可	可	可
No Change	可	可	可	可	可

* HDMI のみ有効

⑤ 再度「OK」ボタンを押して、ハイライトされたビデオポートを選択します。以下のように、音声設定の設定値は赤くハイライトされます。



⑥ ▲▼◀▶ボタンを使用して、音声入力を切り替えます。

⑦「OK」ボタンを押して、選択された設定値を確定します。

⑧ メニューに戻るには▲▼ボタンを使用して、「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押して、メニューに戻ることもできます。

● IP 設定の変更

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「Network」オプションを選択します。

③「OK」ボタンを押すと、「IP Mode」オプションはハイライトされます。

④ ◀▶ボタンを押して、オプションを選択します。

⑤「OK」ボタンを押して、ハイライトされたオプションを選択します。

>>Telnet、UDP または Discovery オプションを変更する：

a.「OK」ボタンを押して、オプションを選択します。

b. ▲▼◀▶ボタンを使用して、オプションに応じて、「Enable / Disable」または「On / Off」を切り替えます。

c.「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。

>> HTTP Port、Telnet Port または UDP Port オプションを変更する：

a.「OK」ボタンを押して、オプションを選択します。

b. ◀▶ボタンを押して、文字を選択します。

c. ▲▼ボタンを押して、数値（1 ～ 9）を選択します。

d.「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。

>>「IP Mode」オプションを設定するには：

a.「OK」ボタンを押して、「IP Mode」を選択します。

b. 以下の画面が表示されます。

c. ◀▶ボタンを押して、オプションを選択します。

d.「OK」ボタンを押して、ハイライトされたオプションを選択します。

e.「IP Mode」オプションを変更するには：

i.「IP Mode」オプションを選択します。

ii. ▲▼◀▶ボタンを使用して、「Static」または「DHCP」に切り替えます。

iii.「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。

f.「IP Address」、「Subnet Mask」または「Def Gateway」オプションを変更するには：

vii.「OK」ボタンを押して、ハイライトされたオプションを選択します。

viii. ◀▶ボタンを押して、数値を選択します。

ix. ▲▼ボタンを使用して、数値を選択します。

x.「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。

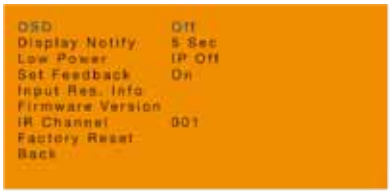
⑥ メニューに戻るには、▲▼ボタンを使用して、「Back」オプションを選択し、「OK」ボタンを押します。また「Menu」ボタンを押して、メニューに戻ることもできます。

●システム設定の変更

① IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Output Setup」オプションがハイライトされます。

② ▲▼ボタンを使用して、「System」オプションを選択します。

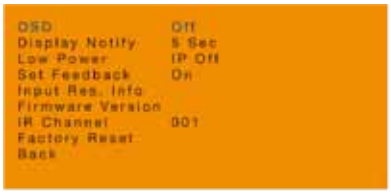
③「OK」ボタンを押して、「OSD」オプションはハイライトされます。



④ ▲▼ボタンを使用して、オプションを選択します。

⑤「OK」ボタンを押して、選択します。

⑥ ▲▼◀▶ボタンを使用して、設定値を設定します。



● OSD 表示時間（OSD）

OSD 表示時間の設定では、「Menu」ボタンを押した後に表示する時間を設定します。「Off」に設定すると、OSD メニューは常時表示され、もう一度 Menu ボタンを押すと消えます。表示時間は 5 ～ 60（単位：秒）に設定できます。

●情報表示（Display Notify）

「Off」に設定すると、画面左上角に情報表示は一切表示されません。表示時間は 5 ～ 60（単位：秒）に設定できます（例：5 秒の場合は「005」）。

●電力の低減（Lower Power）

IP 制御を無効にします。この設定は「EnergyStar」の基準に準拠するためにありますが、設定を「Off」にすると、IP 制御で本体の電源を入れることができません。なお、IP 制御を使用しない場合は、この設定を「IP Off」にします。

●戻り値の設定（Feedback）

RS-232、UDP と Telnet の戻り値を有効 / 無効にします。一方向の通信のコントロールシステムと連動する場合、設定を「Off」に切替えます。

●入力解像度の情報表示（Input Res. Info）

現在の入力解像度 / タイミング、カラースペースの情報を表示します。「System」メニューに戻る場合、「Menu」ボタンを押します。

●ファームウェアのバージョン（Firmware Version）

現在のファームウェアのバージョンを表示します。「System」メニューに戻る場合、「Menu」ボタンを押します。

● IR チャンネルの設定

EXT-MFP 本体の IR チャンネルを設定します。なお、EXT-MFP 本体と IR リモコンは同じ IR チャンネルに設定しなければ動作しません。詳しくは 5 ページ「● IR チャンネルの設定」をご参照下さい。

●ファクトリデフォルトの実行

EXT-MFP を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。詳しくは 54 ページ「■デフォルト設定」をご参照下さい。

■制御方法

●リレー制御

常時開（NO）瞬時閉鎖に対応する機器をリアパネルの「Input Control」端子に接続すれば、一般のコンタクトクロージャのプッシュボタン、キーパッドを使用して、入力を選択することができます。付属のフェニックスプラグをご利用下さい。接続については、以下の図をご参照下さい。

① 入力選択（1 ～ 5）と「C」ターミナル間にスイッチを接続します。それぞれの番号は下記入力を表します。

1) HDMI

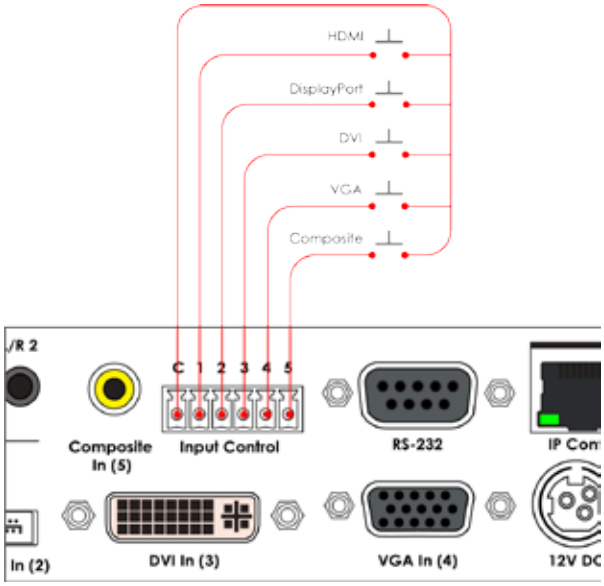
2) DisplayPort

3) DVI

4) VGA

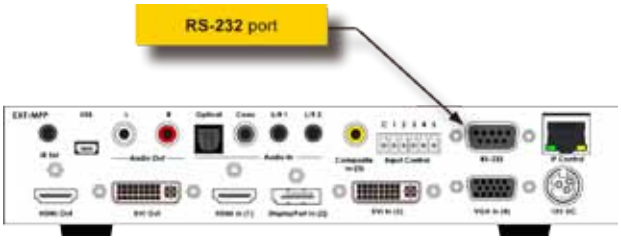
5) コンポジットビデオ

② 接続を一時的にクローズすると、接続された映像入力は選択されます。音声の割り当てが設定された場合、音声は映像入力に割り当てられた音声に切り替わります。詳しくは 29 ページ「●Setup⇒Audio」をご参照下さい。



● RS-232 制御

RS-232 経由で ASCII コマンドを出力する制御機器から EXT-MFP を操作することが可能です。DB-9M 端子付のシリアルケーブルをリアパネルの「RS-232」端子に接続します。詳しくは 40 ページ「● RS-232 の設定」をご参照下さい。



● IP 制御

外部制御機器やコントロールシステムから EXT-MFP の IP アドレスに Telnet コマンドを送り、EXT-MFP を操作することができます。RJ-45 端子付の LAN パッチコードをリアパネルの「IP Control」端子に接続します。

詳しくは 40 ページ「■ IP 制御」をご参照下さい。

■ Syner-G Discovery Tool

Gefen の「Syner-G Discovery Tool」により、EXT-MFP の IP 設定を簡単にセットアップすることが可能です。「Syner-G Discovery Tool」を通じて、ユーザは Windows PC やラップトップ、iOS または Android スマートフォン / タブレットから EXT-MFP を設定 / 操作することができます。

Gefen ソフトウェア「Syner-G Software Suite」は、Gefen 社ホームページ（http://www.gefen.com/support/download.jsp）から無料でダウンロードできます。また、「Syner-G Discovery Tool」アプリは「Apple App Store」または「Google Play Store」から無料でダウンロードできます。是非ご利用下さい。

なお、お持ちの PC やスマートフォンが EXT-MFP と同じネットワークに接続されていること、EXT-MFP の電源が入って入ることをご確認下さい。

Syner-G Discovery App　　Syner-G Software Suite

● Gefen Syner-G Discovery Tool の使用方法

① 必ず「Enable Discovery」機能を「enabled」に設定して下さい。詳しくは 37 ページ「Network ⇒ Discovery Protocol Settings」をご参照下さい。

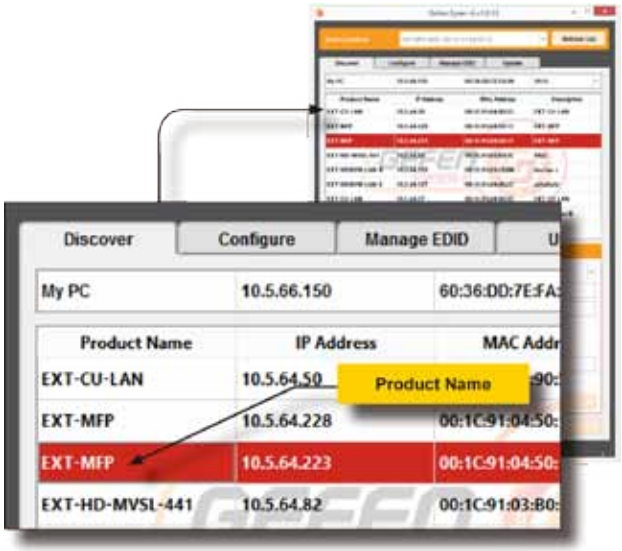
> EXT-MFP がスタンバイモード、「Low Power」に設定されていると、「Syner-G」は EXT-MFP を認識できません。詳しくは 38 ページ「● System」をご参照下さい。

② 「Syner-G Software Suite」を起動し、「Discover」タブをクリックします。アプリの場合は「Find Devices On Network」ボタンを押します。

③ 「Product Name」の一覧に表示されます。

④ 「EXT-MFP」をクリックします。

⑤ 画面下部に EXT-MFP の「Device IP Settings」が表示されます。



⑥ 現在の IP アドレスと設定が表示されます。他のユーザーが簡単にアクセスできるように、設定を変更することも可能です。

⑦ 「Description」フィールドに記載されている説明文を変更できます。なおデフォルトでは型番が表示されます。

⑧ 「Show Me」ボタンを押します。「Show Me」ボタンが押されると、フロントパネルにある「Audio」と「Video」LED インジケーターは点滅します。接続中の EXT-MFP を視認することができます。

⑨ 「Web GUI」リンクを押すと、直接 EXT-MFP の内蔵ウェブインターフェースにアクセスします。

> ※ネットワークの設定に合わせて EXT-MFP の IP アドレスを正しく設定しないと、内蔵ウェブインターフェースにアクセスすることができません。なお、このページで EXT-MFP の IP アドレスを変更できます。

⑩ パスワード（Operator パスワードのデフォルトは「operator」）を入力し、操作画面にアクセスします。詳しくは 24 ページ「●ウェブインターフェースの使用方法」をご参照下さい。

■ウェブインターフェース

●ウェブインターフェースの使用方法

内蔵ウェブインターフェースを使用して、より高度な操作をすることができます。ウェブインターフェースにアクセスするには、ウェブブラウザーのアドレスバーに IP アドレスを入力します。また、「Gefen Syner-G Software Suite」や OSD メニューの「Network」を使用して、EXT-MFP の IP 設定を確認することができます。EXT-MFP に接続されると、ログイン画面が表示されます。

① Username（ユーザ名）

ドロップダウンリストからユーザー名（Operator と Administrator）を選択します。アドミニストレーター（Administrator）ログインは全ての機能と設定にアクセスします。オペレーター（Operator）ログインは入力の切替操作、表示情報、プリセットへのアクセスなどに制限されます。

② Password（パスワード）

パスワードを入力します。また、「#set_webui_ad_pass 」と「#set_webui_op_pass」コマンドを使用して、パスワードを設定することが可能です。入力されたパスワードはマスクされた状態で表示されます。

③ Login（ログイン）

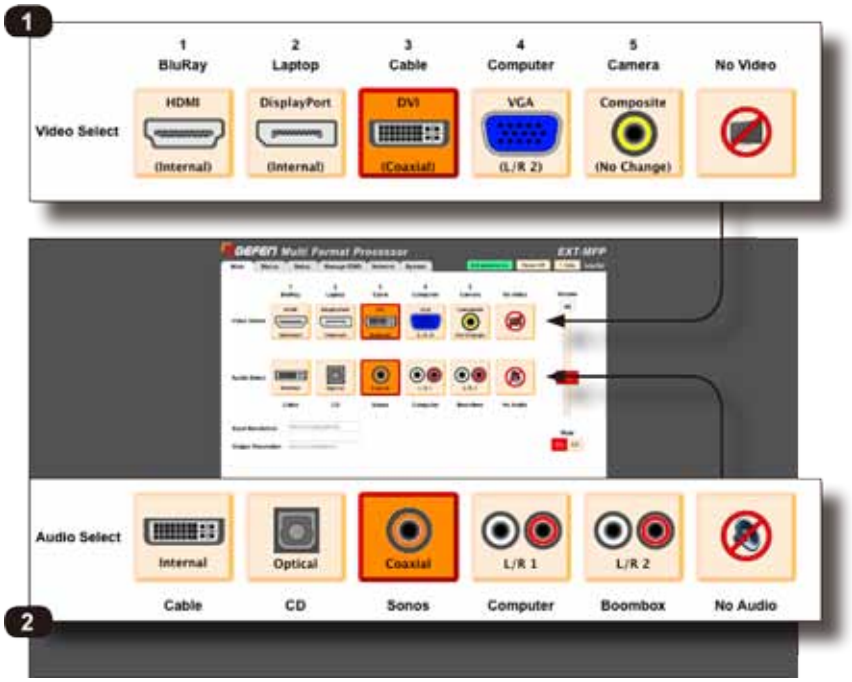
ボタンをクリックして、ウェブインターフェースにアクセスします。

IP アドレスの初期設定	パスワードの初期設定
>>IP アドレス「192.168.1.72」	ユーザー名：Operator ⇒【Operator】
>> サブネット「255.255.255.0」	ユーザー名：Administrator ⇒【Admin】
>> ゲートウェイ「192.168.1.1」	

ウェブインターフェースは「Main」「Status」「Setup」「Manage EDID」「Network」「System」の 6 つのメインページによって構成されています。各メインページは画面上部にあるタブからアクセス可能です。「Setup」と「Manage EDID」ページにはサブタブページが含まれています。それぞれのメインページタブをクリックして、メインページにアクセスします。

全てのタブを表示するには、アドミニストレーター（Administrator）としてログインする必要があります。オペレーターでログインした場合は「Main」タブのみが表示されます。

● Main（メイン）

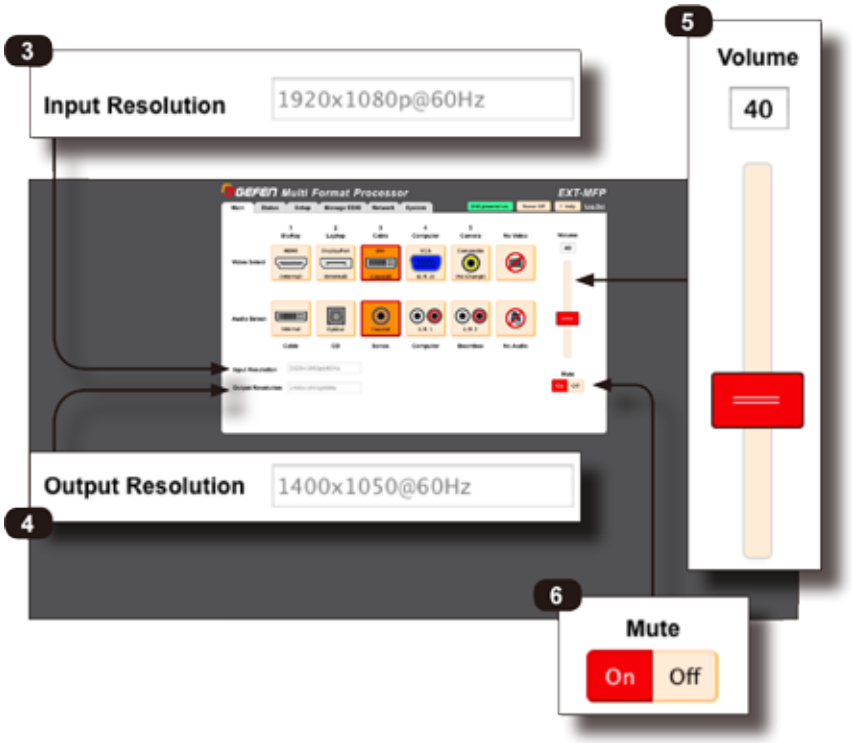


① Video Select

これらのボタンをクリックして、ビデオ入力を切り替えます。オプション：HDMI, DisplayPort, DVI, VGA, Composite, No Video。

② Audio Select

これらのボタンをクリックして、音声入力を切り替えます。オプション：Internal, Optical, Coaxial, L/R 1, L/R 2, No Audio。



③ Input Resolution

ソースの入力解像度を表示します。

④ Output Resolution

EXT-MFP の出力解像度を表示します。

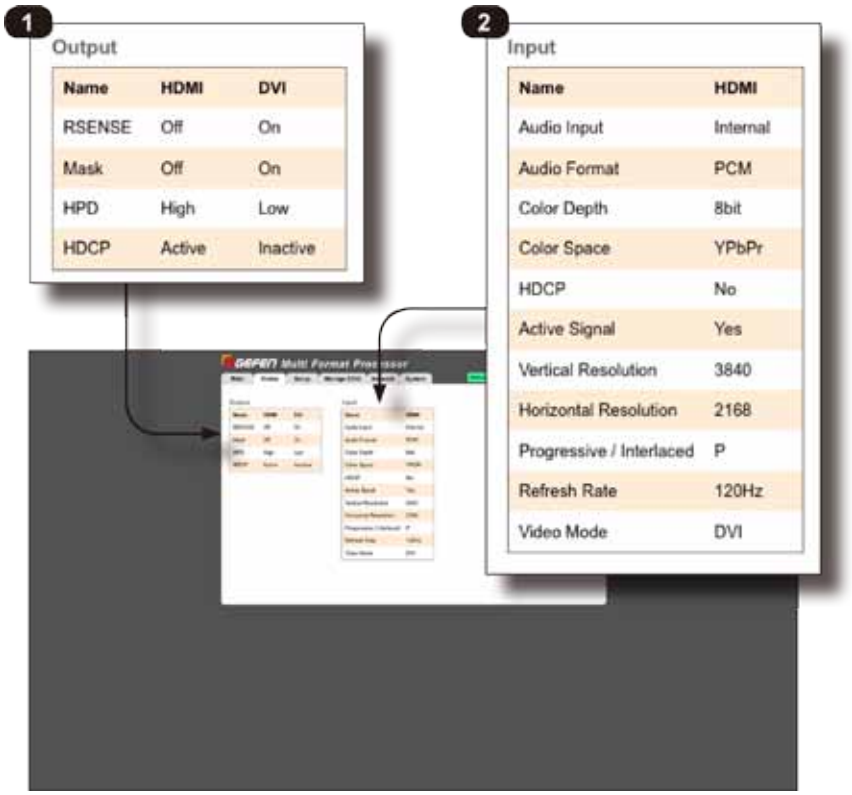
⑤ Volume

フェーダーをスライドして、出力レベルを調節します。また、「Volume」フィールドに直接音量値を入力して、音量を変更することも可能です。アナログ入力にのみ有効です。

⑥ Mute

ボタンをクリックして、音声をミュートします。「Off」ボタンをクリックすると、ミュート前の音量に戻ります。ミュート中、ボタンは赤くハイライトされます。

● Status



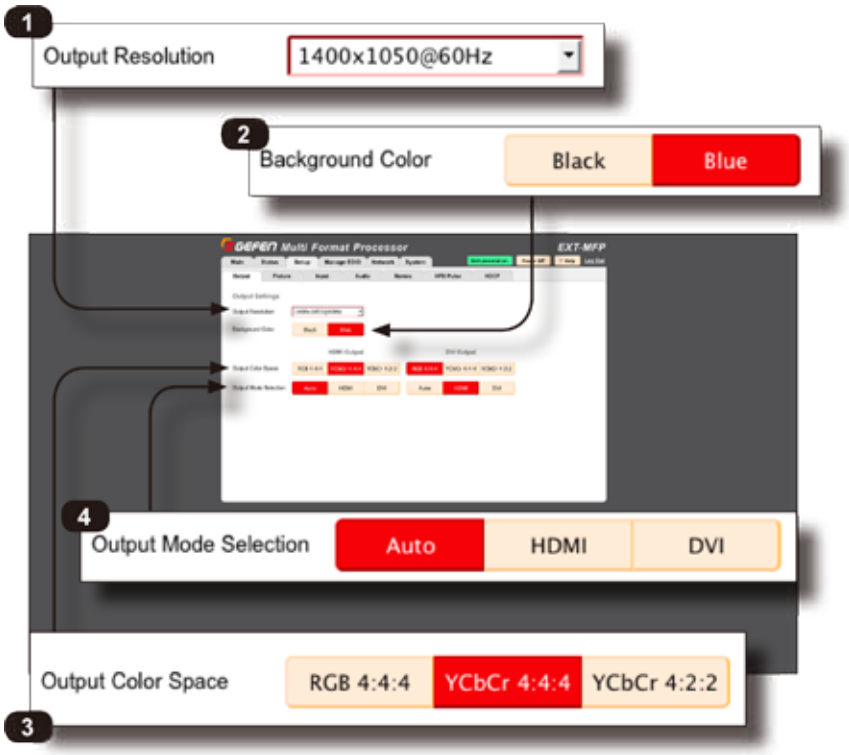
① Output

現在の HDMI と DVI モードの出力情報を表示します。

② Input

現在の音声 / 映像の入力情報を表示します。

● Setup ⇒ Output



① Output Resolution

ドロップダウンリストをクリックして、出力解像度を選択します。出力解像度の一覧は 43 ページを参照してください。

② Background Color

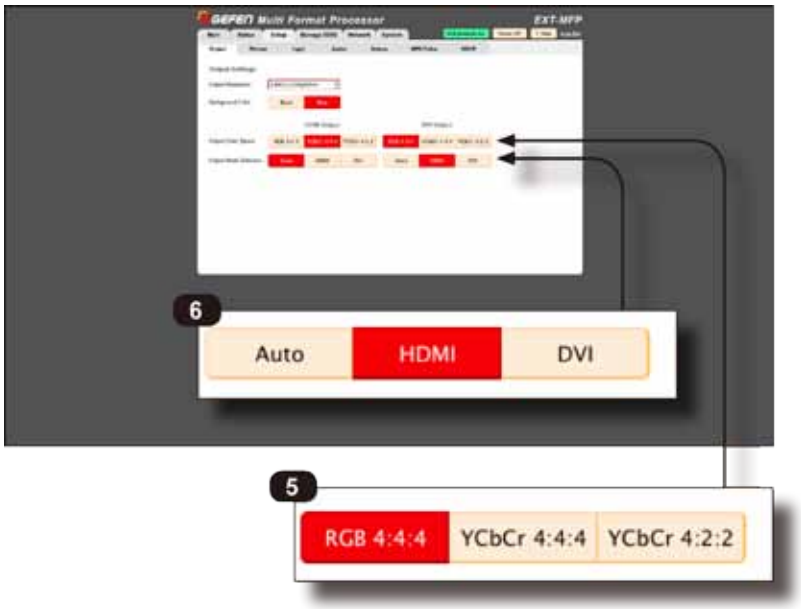
背景の色を設定します。

③ Output Color Space（HDMI）

これらのボタンをクリックして、HDMI のカラースペースを設定します。

④ Output Mode Selection（HDMI）

これらのボタンをクリックして、HDMI 出力モードを設定します。なお、デフォルト設定は「Auto」です。



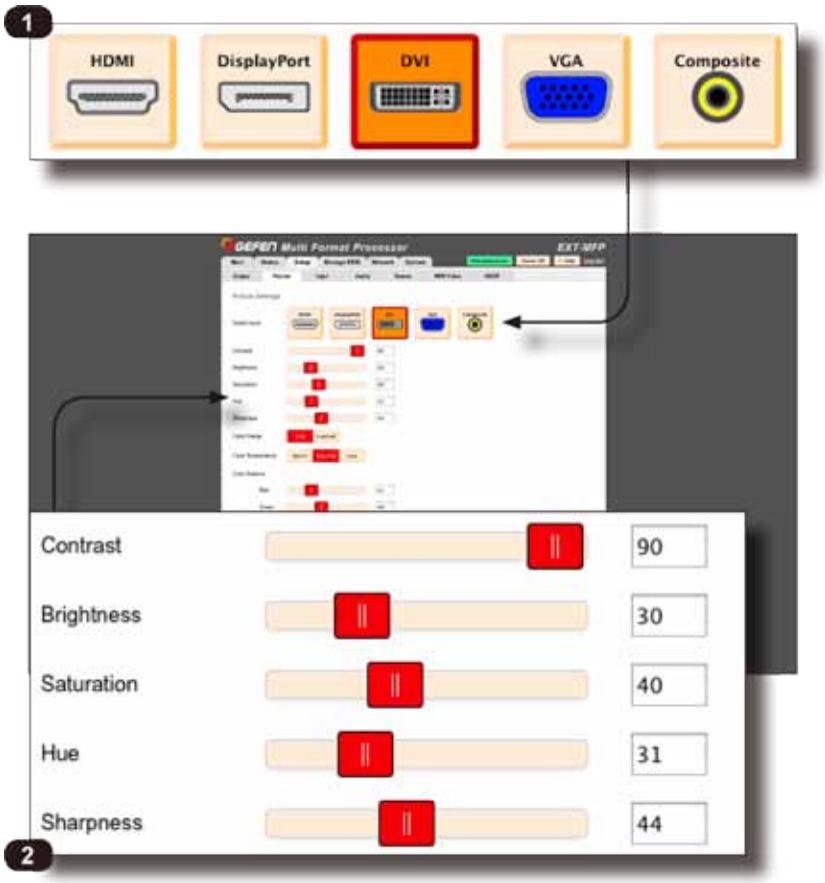
⑤ Output Color Space（DVI）

これらのボタンをクリックして、DVI のカラースペースを設定します。

⑥ Output Mode Selection（DVI）

これらのボタンをクリックして、DVI 出力モードを設定します。なお、デフォルト設定は「HDMI」です。

● Setup ⇒ Picture

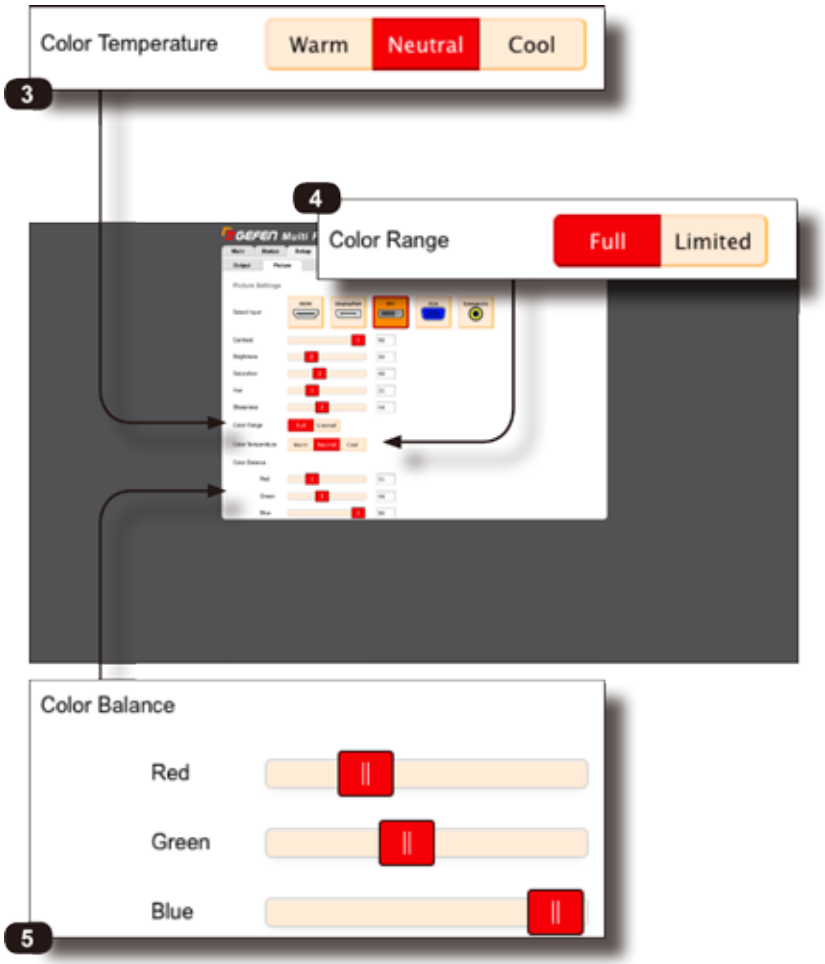


① Select Input

これらのボタンをクリックして、設定する入力を選択します。

② Contrast
Brightness
Saturation,
Hue
Sharpness

これらのフェーダをスライドして、コントラスト、ブライトネス、サチュレーション、色合い、シャープネスを調整します。



③ Color Temperature

これらのボタンをクリックして、色温度を設定します。なお、デフォルト設定は「Neutral」となります。

④ Output Mode Selection（DVI）

これらのボタンをクリックして、カラーレンジを設定します。なお、デフォルト設定は「Full」となります。

⑤ Color Balance

これらのフェーダをスライドして、赤、緑、青のカラーバランスを調節します。

● Setup ⇒ Input

① Select Input

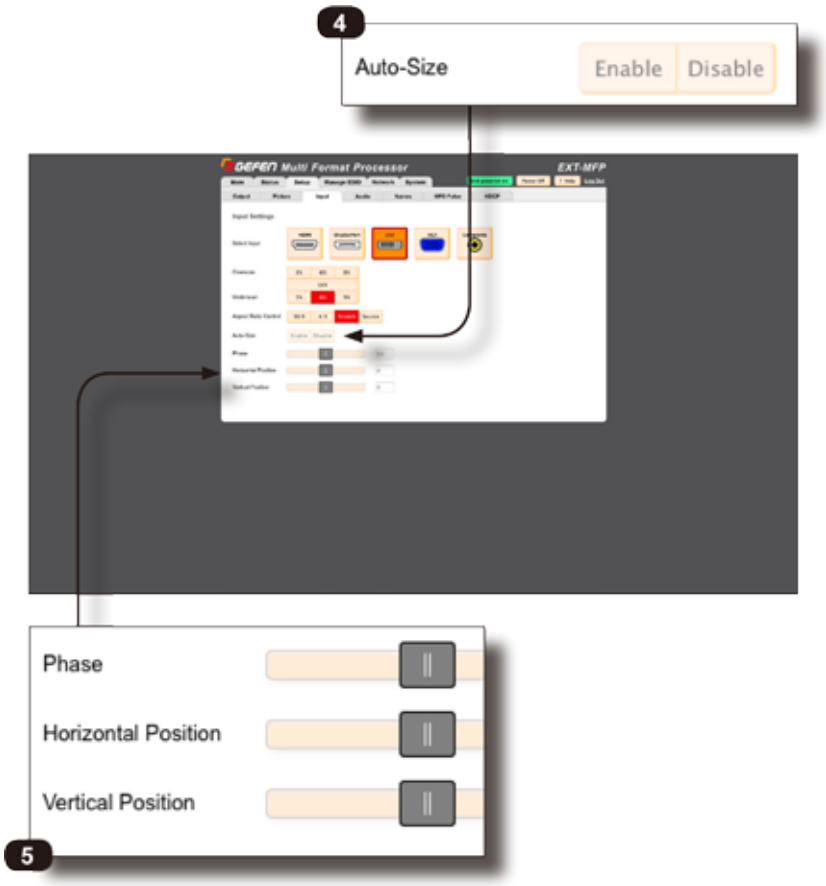
これらのボタンをクリックして、設定する入力を選択します。

② Overscan, Underscan

これらのボタンをクリックして、アンダースキャン / オーバースキャンを設定します。「Off」をクリックして、アンダースキャン / オーバースキャンを有効 / 無効にします。

③ Aspect Ratio Control

これらのボタンをクリックして、アスペクト比を設定します。



④ Auto-Size

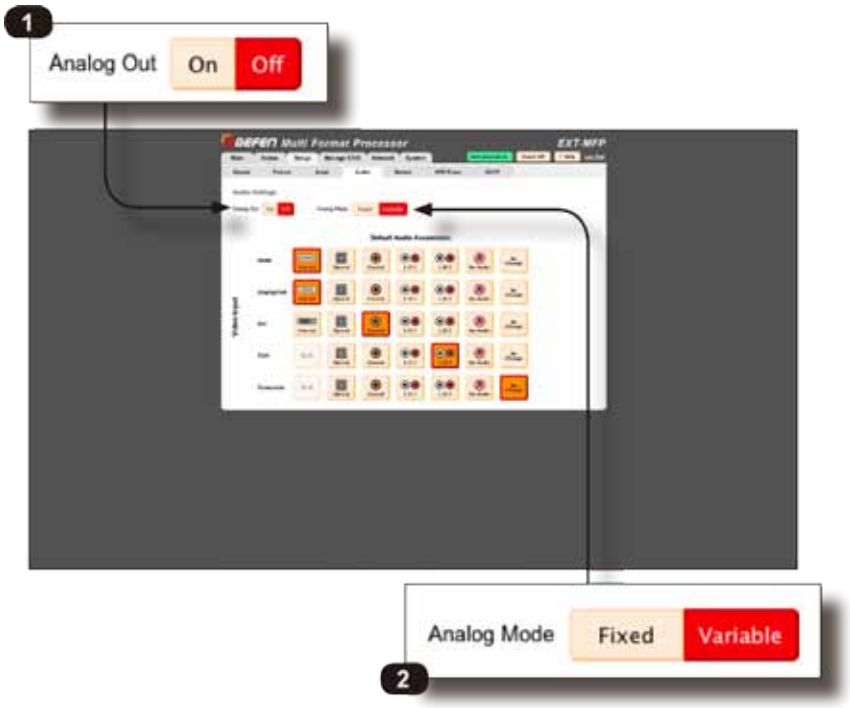
⑤ Phase

Horizontal Position

Vertical Position

これらのフェーダをスライドして、位相、垂直位置、水平位置を調節します。これらのフェーダは VGA またはコンポジット入力のみで操作できます。

● Setup ⇒ Audio



① Analog Out

これらのボタンをクリックして、アナログ音声出力を有効 / 無効にします。

② Analog Mode

これらのボタンをクリックして、アナログ出力を「Fixed」または「Variable」に切り替えます。「Fixed」に設定すると、EXT-MFP が音声の出力レベルを制御します。「Variable」に設定すると、ソース機器が音声の出力レベルを制御します。

③ Default Audio Association

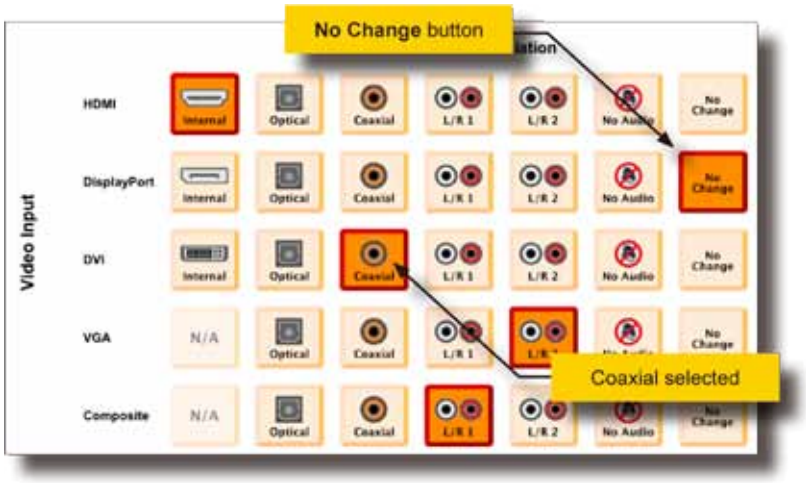
これらのボタンをクリックして、ビデオ入力に割り当てる音声を設定します。例えば、上記のスクリーンショットでは、HDMI と DisplayPort ビデオ入力は両方とも「Internal」に設定されています。また、DVI 入力は「Coaxial」に、VGA 入力は「L/R 2」に、コンポジット入力は「No Change」に設定されています。

「No Audio」をクリックすると、選択されたビデオ入力の音声はミュートされます。「No Change」をクリックすると、ビデオ入力の切り替えにかかわらず、音声は設定された状態になります。詳しくは次ページの「No Change」機能をご参照下さい。

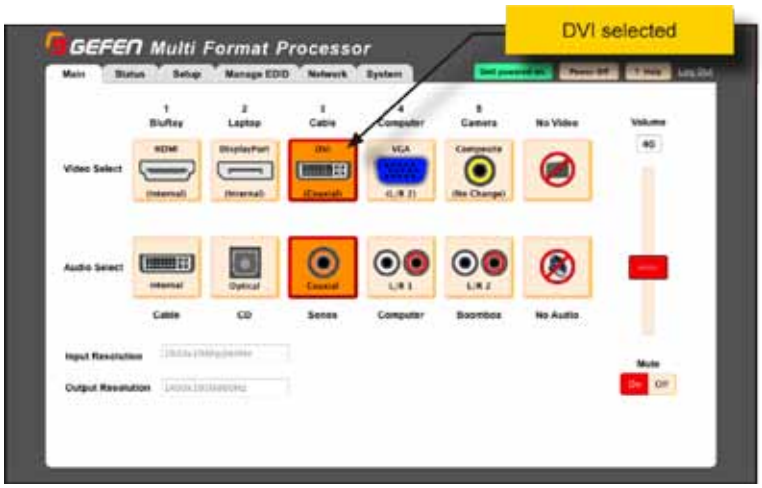
「No Change」機能は、ビデオ入力の切り替えにかかわらず、音声を設定された状態にします。

例えば、DVI ソースに同軸（Coaxial）音声入力が割り当てられました。映像を DisplayPort に切り替え、音声を同軸のままにする場合、以下手順を実行します。

①「Setup ＞ Audio」タブにてに DisplayPort 音声入力を「No Change」に設定します。これにより、DisplayPort 入力に切り替えても、音声入力は同軸（Coaxial）に固定されます。

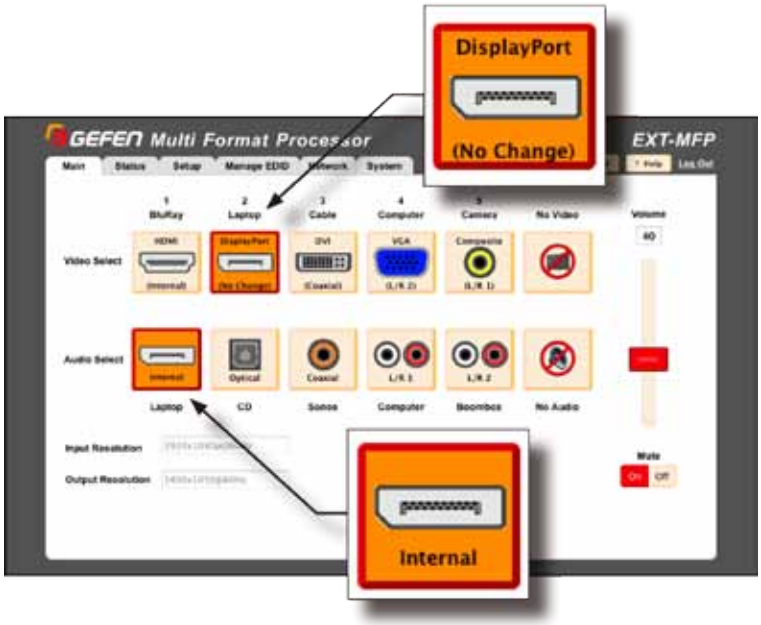


②「Main」タブでは、DVI 入力の音声は Coaxial のままになっていることが分かります。同じことが「Setup ＞ Audio」タブにて確認することが可能です。



③「DisplayPort」ビデオ入力に切り替えます。

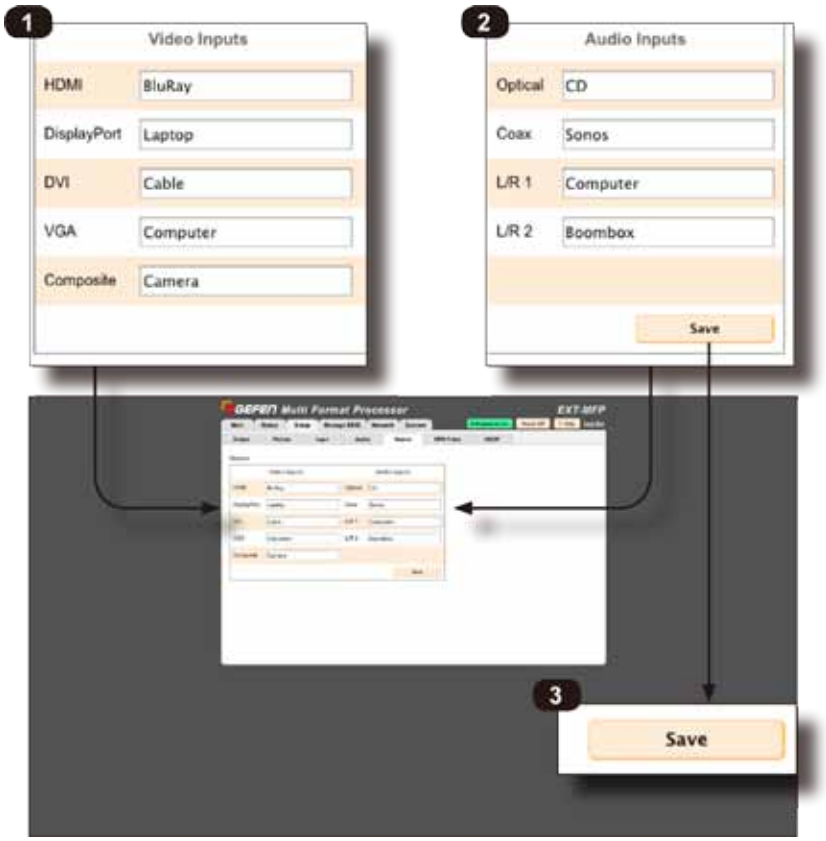
④「DisplayPort」ビデオ入力のラベルに「No Change」と記載されています。ビデオ入力を切り替えても音声ソースは変わらないことが分かります。



「Audio Select」では、「DisplayPort」アイコンが表示され、そのラベルは「Internal」と記載されています。即ち、デジタル音声チャンネルは選択された映像信号にエンベンデッドされていることです。また、「Internal」で選択可能な音声は、選択中のデジタルビデオソースからの音声チャンネルのみとなります。

HDMI-to-DVI 変換ケーブル（または HDMI ケーブルに HDMI-to-DVI 変換アダプター）を使用すれば、DVI In（3）入力は HDMI 入力として機能することができます。HDMI ソース機器を入力する場合、エンベンデッドされた HDMI 音声は DVI In（3）入力に伝送されます。

● Setup ⇒ Names



① Video Inputs

これらのフィールドをクリックして、各入力にその名前を入力します。

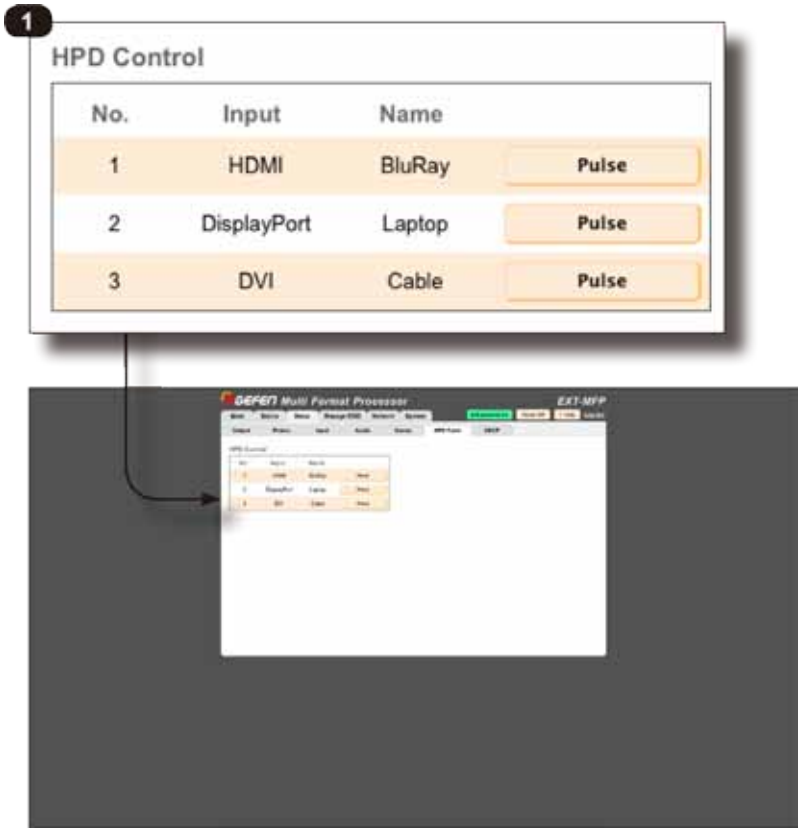
② Audio Inputs

これらのフィールドをクリックして、各入力にその名前を入力します。

③ Save

ボタンをクリックして、入力されたビデオ入力 / 音声入力名を保存します。

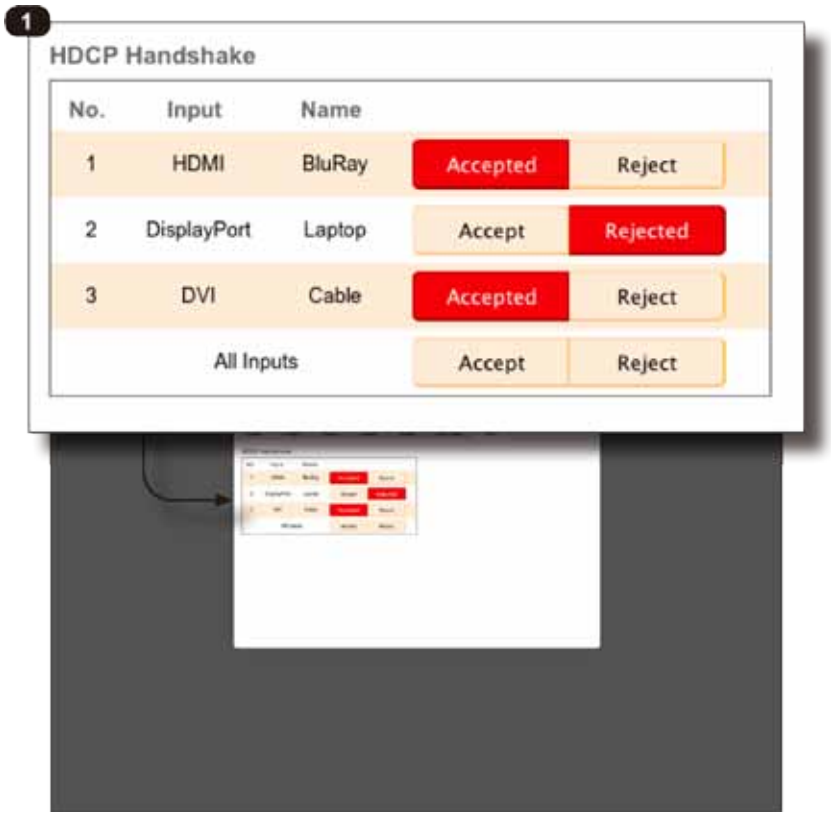
● Setup ⇒ HPD Pulse



① HPD Control

「Pulse」ボタンをクリックすると、入力の HPD ラインに HPD（Hot-Plug Detect）信号パルスを送信します。この機能はソースと EXT-MFP 間のケーブルを物理的に抜き差しすることと同じ動作を行います。

● Setup ⇒ HDCP

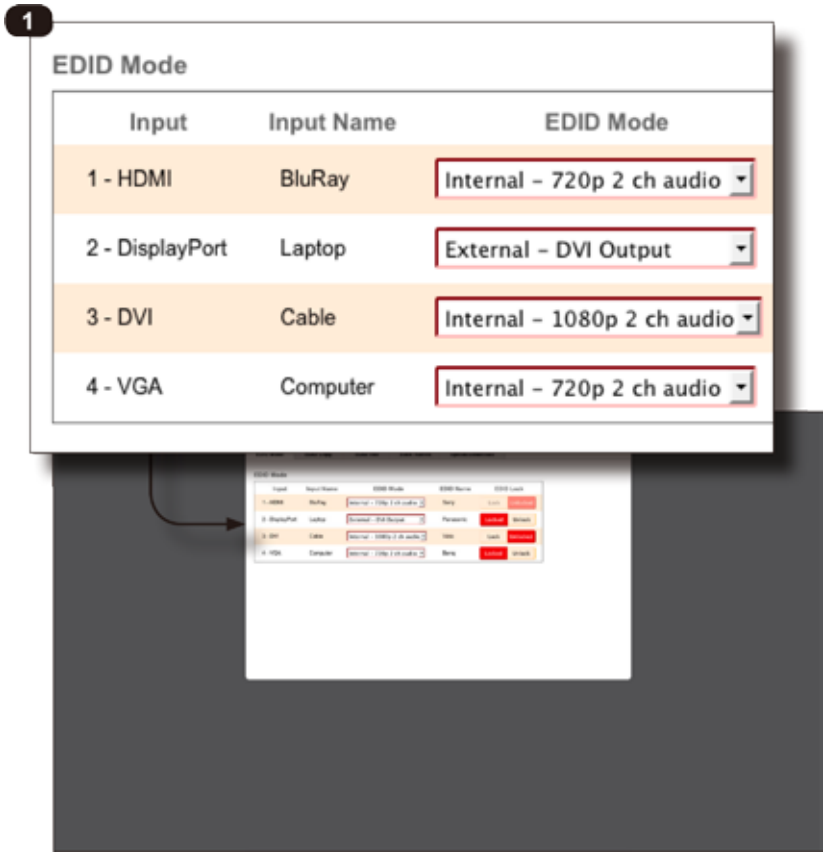


① HDCP Handshake

ソース機器から EXT-MFP に HDCP コンテンツの伝送を制御します。「Accepted」ボタンをクリックすると、HDCP コンテンツの伝送を許可し、「Rejected」ボタンをクリックすると、許可しません。

全てのソース機器が HDCP を許可するには、「All Inputs」の行の「Accept」ボタンをクリックします。HDCP を許可しない場合は「Do Not Accept」ボタンをクリックします。

● Manage EDID ⇒ EDID Mode



① EDID Mode

ドロップダウンリストから各入力の EDID モードを選択します。

・Internal - 720p 2 チャンネル音声

・Internal - 720p マルチチャンネル音声

・Internal - 1080p 2 チャンネル音声

・Internal - 1080p マルチチャンネル音声

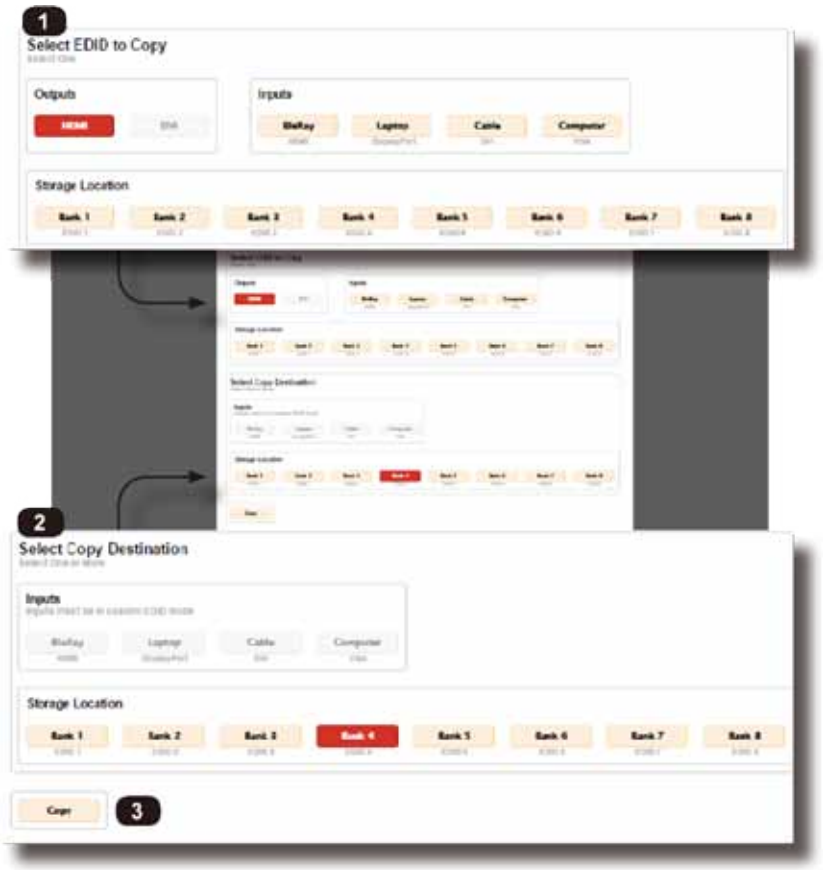
・External - HDMI 出力

・External - DVI 出力

・Custom - ユーザー設定

※ Custom は 33 ページの「● Manage EDID ⇒ EDID Copy」で設定を行う必要があります。

● Manage EDID ⇒ EDID Copy



① Select EDID to Copy

EDID のコピー元ををクリックします。EDID のコピー元は出力の表示機器、入力の EDID、もしくは保存された EDID から選択可能です。

② Select Copy Destination

EDID のコピー先を選択します。EDID のコピー先は入力（EDID モードで「Custom」を選択している場合のみ）または EDID バンクに指定することが可能です。

③ Copy

ボタンをクリックして、EDID ファイルのコピーを実行します。

● Manage EDID ⇒ EDID Info

このページは各 EDID バンクまたはビデオ入力に保存された EDID の情報を表示します。

① Choose EDID

EDID を表示する EDID ファイルを選択します。

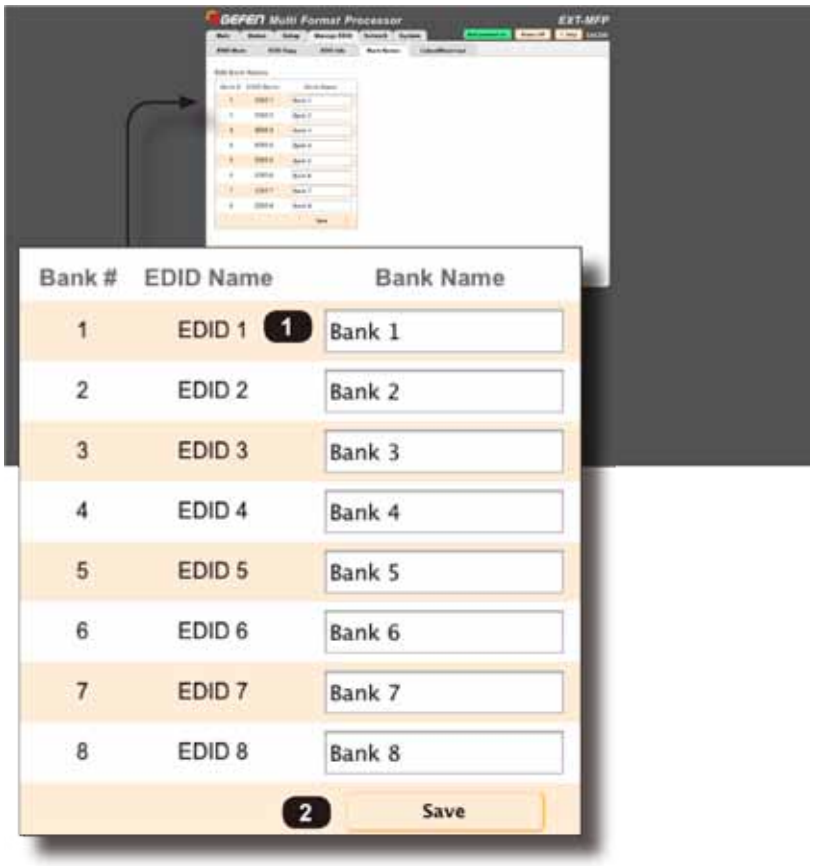
② Feature

EDID がサポートする映像の仕様を表示します。

③ Audio Formats

EDID がサポートする音声の仕様を表示します。

● Manage EDID ⇒ Edit Bank Names


Bank # EDID Name Bank Name
1 EDID 1 1 Bank 1
2 EDID 2 Bank 2
3 EDID 3 Bank 3
4 EDID 4 Bank 4
5 EDID 5 Bank 5
6 EDID 6 Bank 6
7 EDID 7 Bank 7
8 EDID 8 Bank 8
2 Save

このページにて内部 EDID バンクの名前を変更します。

① Edit EDID name

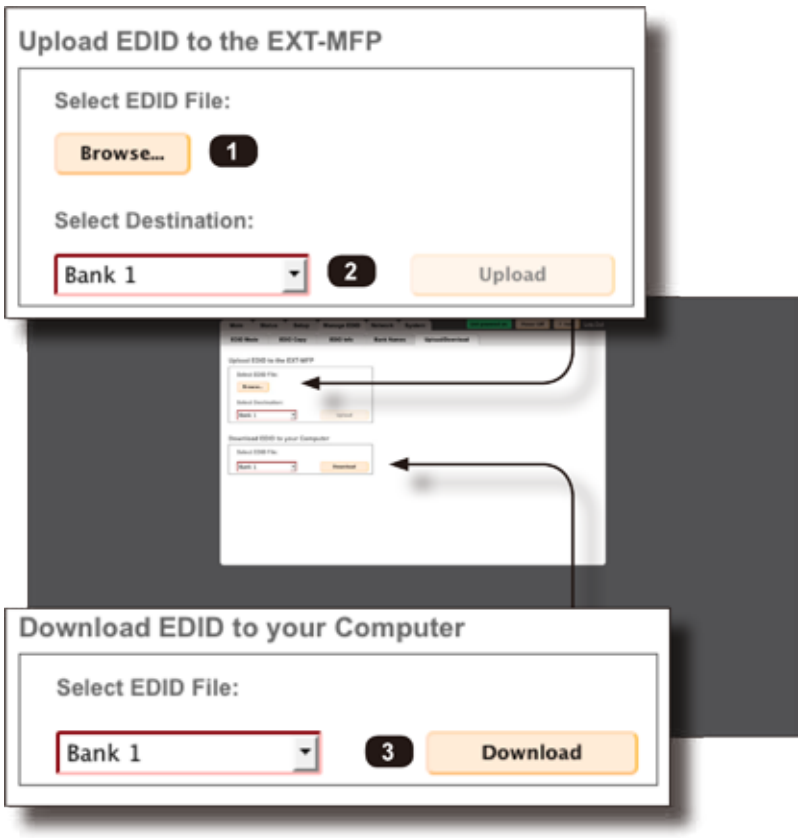
EDID 名を編集します。

② Save

EDID 名を保存します。

※入力は英数字のみです。

● Manage EDID ⇒ Upload/Download



このページでは、コンピューターにある既存の EDID ファイルを EDID バンクにアップロードします。もしくは EDID を EXT-MFP からコンピューターに bin ファイルとしてダウンロードします。

① Select EDID File

コンピューターから EDID ファイルを選択します。

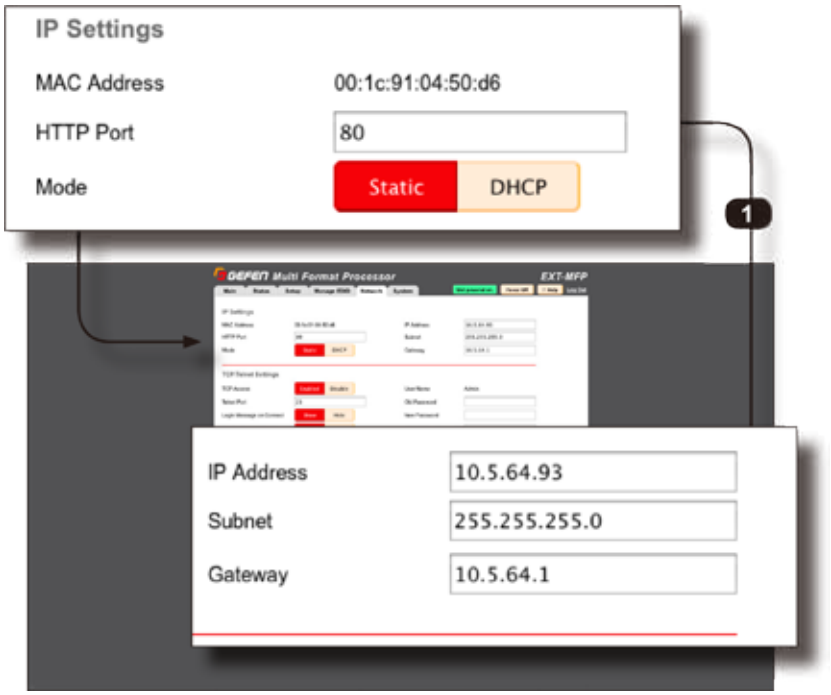
② Select Destination

ダウンロードされた EDID ファイルの保存先（バンク）を選択します。

③ Select EDID File

EXT-MFP（バンクまたは入出力）からコンピューターにダウンロードする EDID ファイルを選択します。

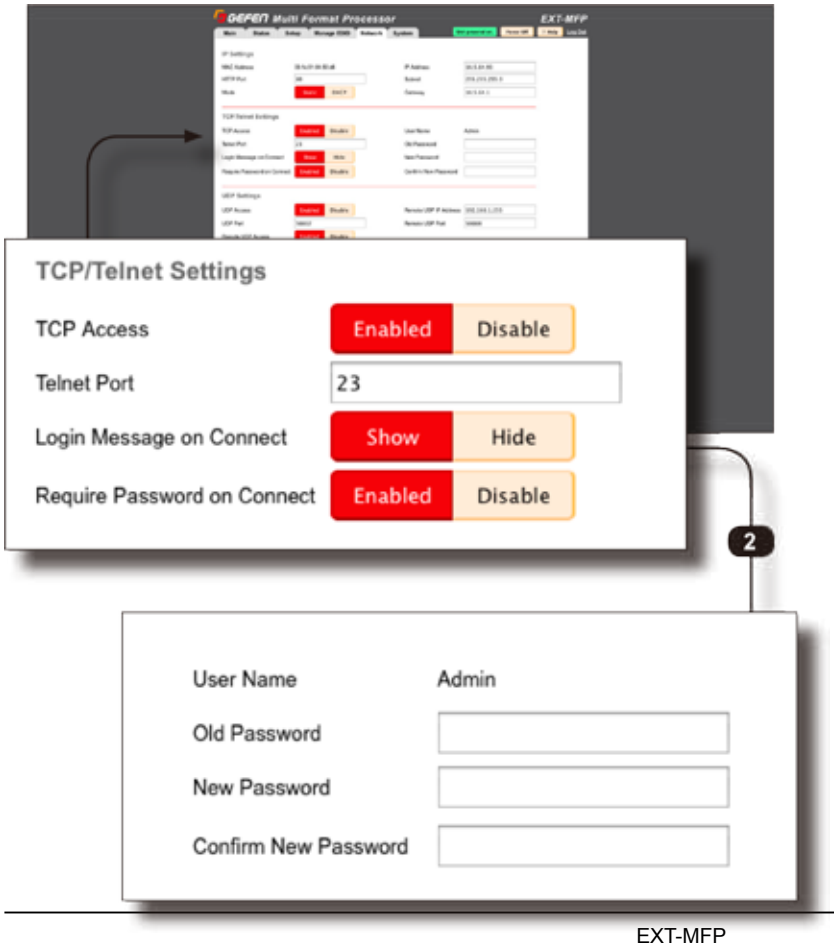
● Network ⇒ IP Settings



① IP Settings

DHCP または Static IP のアドレス、サブネット、ゲートウェイ（ルータ）、HTTP ポート（デフォルト IP アドレス：192.168.1.72）を設定します。

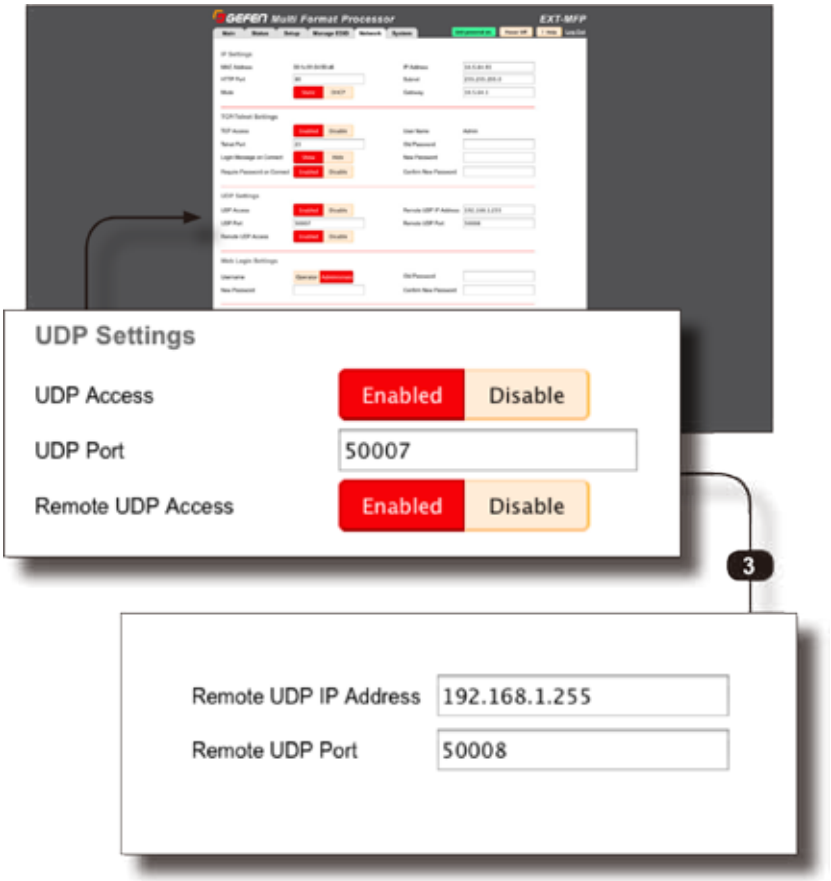
● Network ⇒ TCP/Telnet Settings



② TCP/Telnet Settings

TCP/Telnet 制御のアクセスを設定します。これは Crestron または他のコントロールシステムとの連携に使用されます。

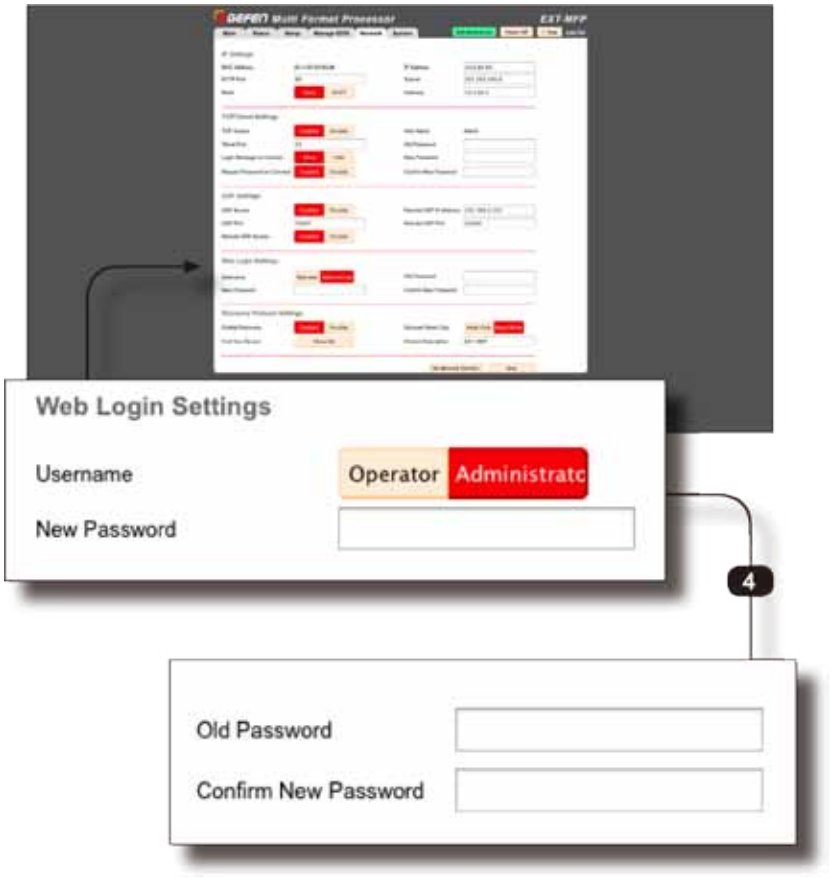
● Network ⇒ UDP Settings



③ UDP Settings

UDP 制御を有効 / 無効にします。UDP はすばやい通信を提供しますが、伝送はセキュリティに欠けます。UDP をサポートする制御システムは多数存在します。

● Network ⇒ Web Login Settings

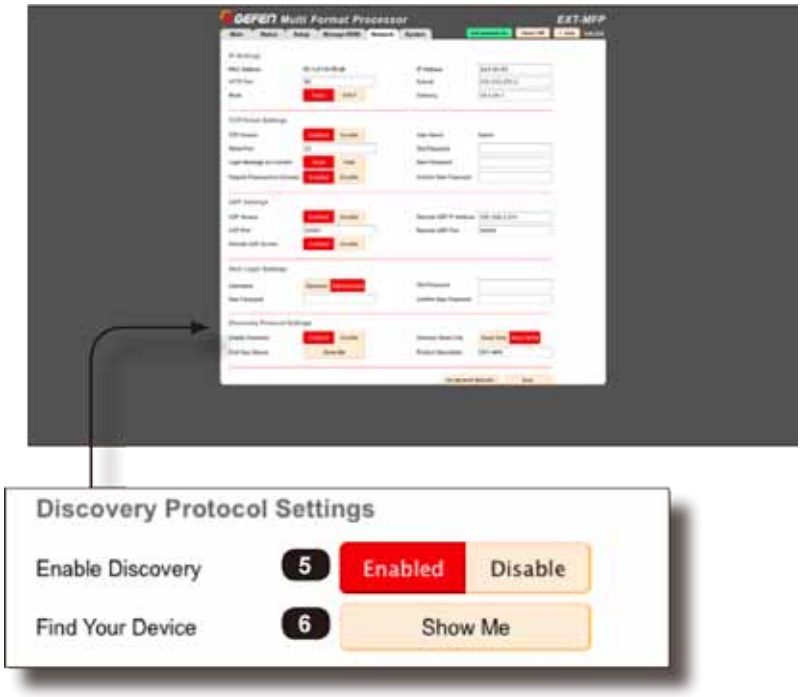


④ Web Login Setting

「Operator」と「Administrator」パスワードを設定 / 変更します。

Operator パスワードのデフォルトは「Operator」です。Administrator パスワードのデフォルトは「Admin」です。大文字と小文字の区別があります。

● Network ⇒ Discovery Protocol Settings

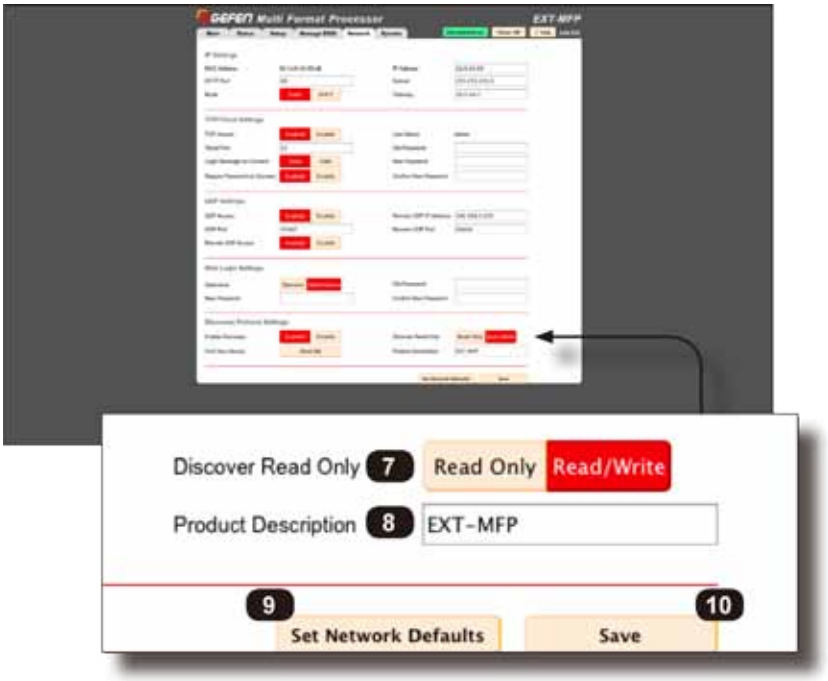


⑤ Enable Discovery

有効に設定します。Syner-G ソフトウェアまたは Syner-G App の Discovery 機能を使用して本機を検出できます。

⑥ Find Your Device

Show Me ボタンをクリックすると、ネットワーク内に接続されている本機のフロントパネルの L ED が点滅します。複数のマルチフォーマットプロセッサが同じネットワーク内に存在する場合に識別することができます。Hide Me をクリックすると点滅が終了します。



⑦ Discover read Only

Read Only は、Syner-G ソフトウェアで IP 設定内容を確認することができます。しかし、IP 設定の変更を行うことはできません。Read/Write では、Syner-G ソフトウェアで IP 設定内容を確認と変更を行うことができます。

⑧ Production Description

デフォルトでは、EXT-MFP に設定されています。自由に変更することができ、Syner-G ソフトウェア内のマルチフォーマットプロセッサーを識別することが可能です。

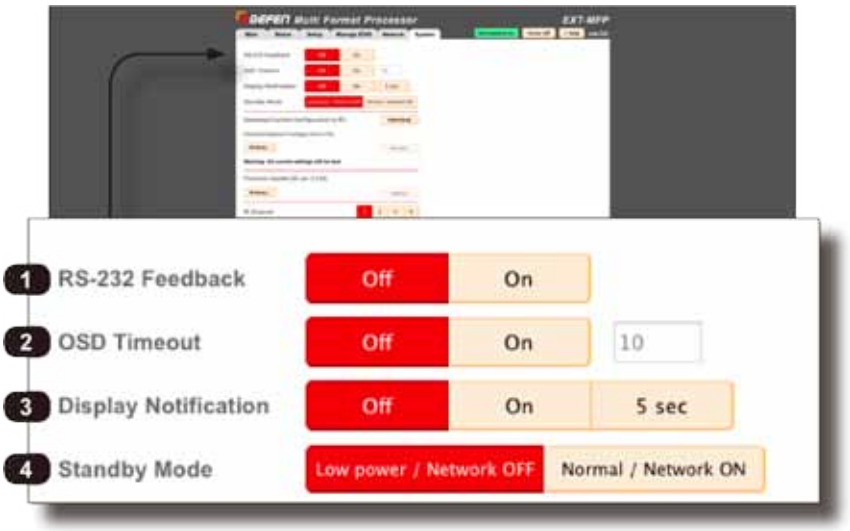
⑨ Set Network Defaults

ファクトリーデフォルトを実行します。

⑩ Save

Network Tab 内の変更をセーブします。

● System



① RS-232 Feedback

RS-232 の戻り値機能を無効にします。

② OSD Timeout

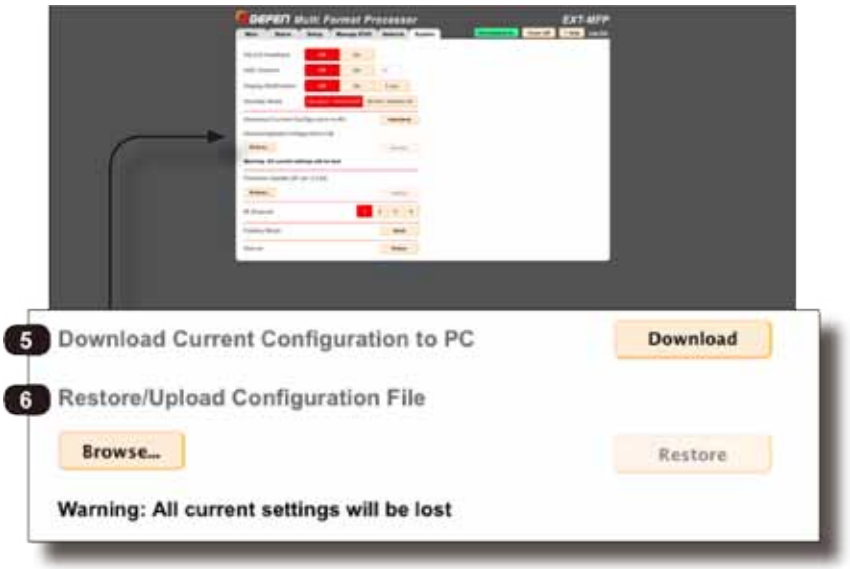
オンスクリーン表示の表示時間を設定します。

③ Display Notification

何かしらの変更が行われた際に、画面左上に表示します。

④ Stand by Mode

Low Power /Network OFFはIP制御を無効にします。この設定は「EnergyStar」の基準に準拠するためにありますが、設定を「Low/Network ON」にすると、IP制御で本体の電源を入れることができません。



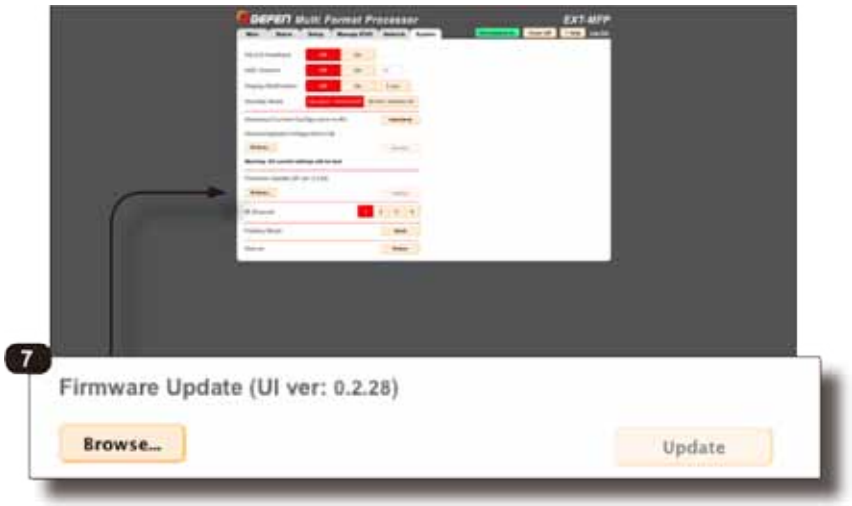
⑤ Download Current Configuration to PC

Download ボタンをクリックすると、EXT-MFP 構成データを XML フォーマットでコンピューターに保存できます。もし、複数のファイルを保存数する場合には、ファイルの名前を変更して保存してください。また、保存された XML ファイルをリストアすることも可能です（例：同じ構成を複数の EXT-MFP にコピーする場合）。

⑥ Restore/Upload Configuration File

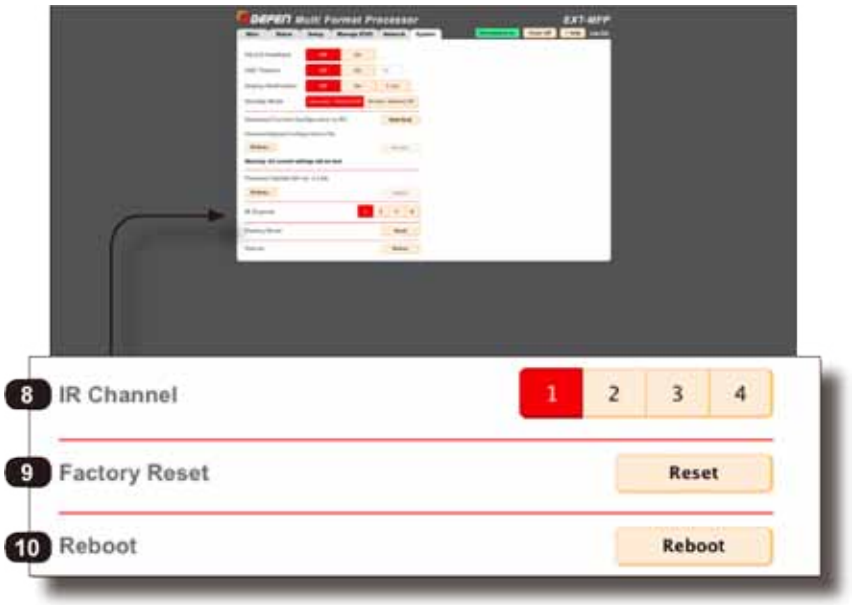
Browse をクリックしアップロードするファイルを指定します。

Restore をクリックして、実行します。



⑦ Firmware Update

Gefen のホームページ、もしくは Gefen「Syner-G Tool」経由で最新のファームウェアをダウンロードすることができます。PC にファームウェアデータをダウンロードし、「Browse...」ボタンをクリックして、ファイルを指定します。「Update」ボタンをクリックして、アップデートを実行します。



⑧ IR Channel

付属の IR リモコンの IR チャンネルを変更します。他の IR リモコンと混線した場合のみにこの操作を行います。詳しくは 5 ページ「● IR チャンネルの変更」をご参照下さい。

⑨ Factory Reset

EXT-MFP を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。リセットを行う前に、行われた構成データを構成ファイルに保存することをお勧めします。リセット操作で構成データが破損した場合、保存された構成ファイルを読み込ませると、構成を復帰することが可能です。

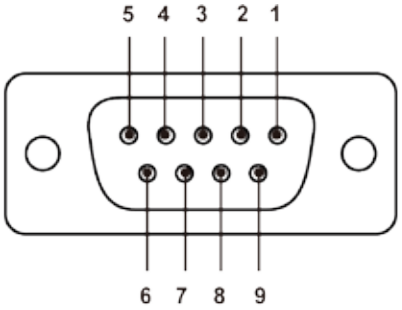
⑩ Reboot

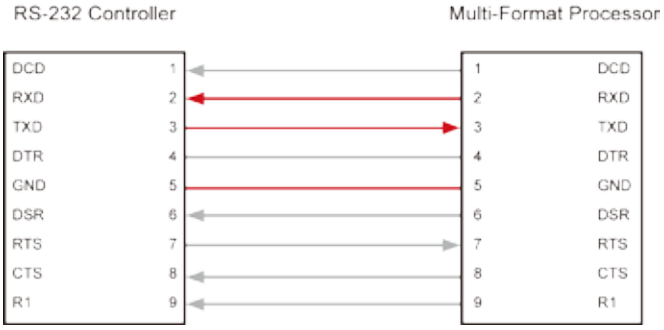
EXT-MFP をリブートします。この操作は本体の電源を入れ直す操作と同じです。

◆高度な操作

■ RS-232 インターフェース

● RS-232 インターフェース





TXD、RXD、GND ピンのみが使用されます。

● RS-232 の設定

説明	設定
ボーレート	19200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

■ IP 制御（Telnet/TCP/UDP）

EXT-MFP は Telnet、UDP または内蔵ウェブブラウザによる IP 制御をサポートします。Telnet 制御は RS-232 コマンドを使って設定する必要があります。以下はネットワークのデフォルト設定です。

ネットワークによるテルネット制御に対応しています。

説明	IP アドレス / ポート	説明	IP アドレス / ポート
IP アドレス	192.168.1.72	Telnet ポート	23
サブネット	255.255.255.0	ローカル UDP ポート	50007
ゲートウェイ	192.168.1.254	リモート UDP IP	192.168.1.129
HTTP ポート	80	リモート UDP ポート	50008

全ての IP 設定はフリーウェア「Gefen Syner-G Software Suite」またはアプリ「Syner-G Discovery Tool」（iOS と Android 対応）経由で簡単に行えます。詳しくは 23 ページをご参照下さい。「Apple App Store」または「Google Play」からアプリをダウンロードできます。

① RS-232 経由で構成を設定します。ターミナルエミュレーションプログラム（例：ハイパーターミナル）を起動し、全項の記載されている RS-232 コマンドを使用して、設定を行います。

② コマンド「#set_ipadd」を使用して、EXT-MFP の IP アドレスを設定します。

③ コマンド「#set_netmask」を使用して、サブネットマスクを設定します。

④ コマンド「#set_gateway」を使用して、ゲートウェイ（ルーター）の IP アドレスを設定します。

⑤ コマンド「using the #set_telnet_port コマンドを使用して、Telnet リスニングポートを設定します。

⑥ コマンド「using the #set_http_port コマンドを使用して、HTTP リスニングポートを設定します。

⑦ コマンド「#set_udp_remote_ip」コマンドを使用して、UDP リモート IP アドレスを設定します。

⑧ コマンド「#set_udp_port」を使用して、UDP リスニングポートを設定します。

⑨ コマンド「#set_udp_remote_port」を使用して、UDP リモートポートを設定します。

⑩ 行われた変更を有効にするためにプロセッサをリブートします。手順③にて指定した IP アドレスをウェブブラウザに入力し、ウェブインターフェースにアクセスします。

IP アドレス、サブネット、ゲートウェイ、ポート番号などを正確に設定する必要があります。ネットワークを介して本機が適切に通信できるように IP アドレスとその他の設定をネットワーク管理者に相談してください。

■コマンド

電源	
#power	本体の電源をオン / オフします。
#get_ power	現在の電源のステータスを表示します。
#set_low_ power	電源をスタンバイモードに設定します。
特殊	
#get_mac_addr	MAC アドレスを表示します。
#help	有効なコマンドリストを表示します。
切替	
#set_input	入力ソース（音声ソースが連携）を設定します。
#get_input	入力ソースのステータスを表示します。
#set_audio_input	音声ソースを設定します。
#get_audio_input	音声ソースのステータスを表示します。
出力	
#set_output_res	出力解像度を設定します。
#get_output_res	現在の出力解像度を表示します。
#set_output_color	モニタごとの出力のカラースペースを設定します。
#get_output_color	出力のカラースペースの設定値を表示します。
#set_output_mode	モニタごとの出力モードを設定します。
#get_output_mode	出力モードを表示します。
#set_background_color	背景の色を設定します。
#get_background_color	背景の色のステータスを表示します。
入力	
#get_input_res	現在の入力の解像度を表示します。
#set_video_name	ビデオ入力の名前を設定します。
#get_video_name	ビデオ入力の名前を表示します。
#set_audio_name	音声入力の名前を設定します。
#get_audio_name	音声入力の名前を表示します。
映像	
#set_contrast	コントラストを設定します。
#get_contrast	現在のコントラストの設定値を表示します。
#set_brightness	ブライトネスを設定します。
#get_brightness	現在のブライトネスの設定値を表示します。
#set_saturation	画像のサチュレーションを設定します。
#get_saturation	画像のサチュレーションの設定値を表示します。
#set_hue	画像の色合いを設定します。
#get_hue	色合いの設定値を表示します。
#set_color_range	出力の色範囲を設定します。
#get_color_range	現在の色の範囲の設定値を表示します。
#set_color_temp	色温度を設定します。
#get_color_temp	現在の色温度の設定値を表示します。
#set_color_balance	カラーバランスを設定します。
#get_color_balance	特定の色チャンネルの設定値を表示します。
#set_sharpness	シャープネスを設定します。
#get_sharpness	シャープネスの設定値を表示します。
調整	
#set_input_hdcp	入力の HDCP との互換を有効 / 無効にします。
#get_input _hdcp	入力の HDCP との互換のステータスを表示。
#set_uo_scan	アンダースキャン / オーバースキャンを設定。
#get_uo_scan	アンダースキャン / オーバースキャンの設定値を表示。
#send_hpd	HPD（Hot Plug Detect）パルスを送信。
#set_auto_size	VGA 入力の自動サイズ調整機能を設定。
#set_phase	VGA 入力の位相を設定します。
#get_phase	VGA 入力の位相の設定値を表示します。
#set_h_position	VGA 入力の垂直位置を設定します。
#get_h_position	VGA 入力の垂直位置を表示します。
#set_v_position	VGA 入力の水平位置を設定します。
#get_v_position	VGA 入力の水平位置を表示します。
#set_aspect_ratio	アスペクト比を設定します。
#get_aspect_ratio	アスペクト比の設定値を表示します。
音声	
#set_mute	アナログと HDMI 出力の音声をミュート / ミュート解除します。
#get_mute	ミュートのステータスを表示します。
#set_analog_vol	アナログ出力の音量を設定します。
#get_ analog _vol	アナログ出力の音量を表示します。
#set_ analog _out	アナログ出力を有効 / 無効にします。
#get_ analog _out	アナログ出力のステータスを表示します。
#set_ analog _mode	アナログ出力モードを設定します。
#get_ analog _mode	アナログ出力モードを表示します。
#set_audio_link	ビデオ入力に音声ソースを割り当てます。
#get_audio_link	ビデオ入力に割り当てられた音声ソースを表示します。
EDID	
#set_edid	EDID を設定します。
#set_bank_name	EDID バンク名を設定します。
#get_bank_name	EDID バンク名を表示します。
ネットワーク	
#set_ipmode	IP モードを設定します。
#get_ipmode	現在の IP モードを表示します。
#get_ipconfig	IP 構成を表示します。
#set_ipadd	IP アドレスを設定します。
#get_ipadd	IP アドレスを表示します。
#set_netmask	サブネットマスクのアドレスを設定します。
#get_netmask	サブネットマスクのアドレスを表示します。
#set_gateway	ゲートウェイのアドレスを設定します。
#get_gateway	ゲートウェイのアドレスを表示します。
#set_http_port	HTTP 通信ポートを設定します。
#get_http_port	HTTP 通信ポートを表示します。
#set_telnet_enable	Telnet アクセスを有効 / 無効にします。
#get_telnet_enable	Telnet アクセスのステータスを表示します。
#set_telnet_port	Telnet 通信ポートを設定します。
#get_telnet_port	Telnet 通信ポートを表示します。
#set_use_telnet_pass	Telnet パスワードを有効 / 無効にします。
#get_use_telnet_pass	Telnet パスワードのステータスを表示します。
#set_telnet_welcome	Telnet ウェルカム画面を有効 / 無効にします。
#get_telnet_welcome	Telnetウェルカム画面のステータスを表示します。
#set_udp_port	UDP 通信ポートを設定します。
#get_udp_port	UDP 通信ポートを表示します。
#set_remote_udp_enable	リモートUDPアクセスを有効 / 無効にします。
#get_remote_udp_enable	リモートUDPアクセスのステータスを表示します。
#set_udp_remote_ip	リモート UDP IP アドレスを設定します。
#get_udp_remote_ip	リモート UDP IP アドレスを表示します。
#set_udp_remote_port	リモート UDP 通信ポートを設定します。
#get_udp_remote_port	リモート UDP 通信ポートを表示します。
#set_udp_enable	UDP アクセスを有効 / 無効にします。
#get_udp_enable	UDP アクセスのステータスを表示します。
#set_webui_ad_pass	ウェブインターフェースの Administrator のパスワードを設定します。
#set_webui_op_pass	ウェブインターフェースの Operator のパスワードを設定します。
ディスカバリー	
#set_discovery	ディスカバリ機能を有効 / 無効にします。
#get_discovery	ディスカバリ機能のステータスを表示します。
#set_showme	「Show Me」機能を有効 / 無効にします。
#set_discovery_mode	Discovery Read/Write モードを設定します。
#get_discovery_mode	Discovery Read/Write モードを表示します。
#set_device_descr	機器の説明文を設定します。
#get_device_desc	機器の説明文を表示します。
システム	
#set_osd_timeout	OSD の表示時間を設定します。
#get_osd_timeout	OSD の表示時間の設定値を表示します。
#set_display_notify	表示の通知を有効 / 無効にします。
#get_display_notify	現在の表示の通知の設定を表示します。
#set_feedback	RS-232 フィードバック機能有効 / 無効にします。
#get_feedback	RS-232 フィードバック機能のステータスを表示します。
#get_firmware_version	ファームウェアのバージョン情報を表示します。
#set_ir_channel	IR チャンネルを設定します。
#get_ir_channel	IR チャンネルのステータスを表示します。
#factory_reset	ファクトリデフォルト設定にリセットします。
#reboot	本体をリブートします。

● #power

EXT-MFP の電源をオン / オフします。電源を切っても全ての設定は保存されます。なお、電源を切った場合、電源を切る前の設定値がリストアされます。

構文.....#power param1

パラメーター .....param1 .....ステータス [0 ... 1]

param1	説明
0	オフ
1	オン

構文例.....# power 1

POWER IS ON

関連のコマンド.....#get_power

● #get_ power

現在の電源ステータスを表示します。

構文.....#get_power

パラメーター .....なし

構文例.....#get_power

POWER IS ON

POWER IS OFF

関連のコマンド.....#power

● #set_low_power

EXT-MFP の電源をオン / オフします。

0 - RS-232/IR / フロントパネルのみ（消費電力が 0.5W 以下の場合）

1 - IP 制御 /RS-232/IR/ フロントパネル（消費電力が 0.5W 以上の場合 ）

構文.....#set_low_power param1

パラメーター .....param1 .....ステータス [0 ... 1]

param1	説明
0	オフ
1	オン

構文例.....#set_low_power 1

LOW POWER STANDBY IP IS SET TO ON

#set_low_power 0

LOW POWER STANDBY IP IS SET TO OFF

関連のコマンド.....#get_power

● #get_mac_addr

MAC アドレスを表示します。

構文.....#get_mac_address

パラメーター .....なし

構文例.....#get_mac_addr

MAC ADDRESS IS 00:1c:91:04:50:13

● #help

特定のコマンドのヘルプファイルを表示します。コマンドを指定しない場合（param1）、有効なコマンドリストが表示されます。

構文.....#help (param1)

パラメーター .....param1 .....コマンド（オプション）

param1	説明
[なし]	全てのコマンドを表示
#set_input	#set_input コマンドの説明を表示

構文例.....#help

AVAILABLE COMMANDS

POWER

#GET_ POWER

#SET_LOW_POWER

#GET_MAC_ADDR

#HELP

.

.

.

#FACTORY_RESET

#REBOOT

#help #set_input

SET INPUT SOURCE WITH ASSOCIATED AUDIO SOURCE

#SET_INPUT PARAM1

PARAM1 =

HDMI

DP

DVI

VGA

COMP

NO VIDEO

● #set_input

表示するビデオ入力を設定します。

構文.....#set_input param1

パラメーター .....param1 .....入力

param1	説明
HDMI	HDMI 入力 (1)
DP	DisplayPort 入力 (2)
DVI	DVI 入力 (3)
VGA	VGA 入力 (4)
Comp	コンポジット入力 (5)
NO VIDEO	ビデオ信号なし

構文例.....#set_input hdmi

INPUT SET TO HDMI

関連のコマンド.....#set_audio_input

● #get_input

出力中のビデオ入力を表示します。

構文.....#get_input

パラメーター .....なし

構文例.....#get_input

INPUT SET TO HDMI

● #set_audio_input

出力する音声入力を設定します。

構文.....#set_audio_input param1

パラメーター .....param1 .....入力

param1	説明
ソース機器	内部入力（HDMI/DP/DVI）
OPT	オプティカル入力
COAX	同軸入力
LR1	アナログステレオ入力 1
LR2	アナログステレオ入力 2
OFF	ミュート

構文例.....#set_audio_input lr1

AUDIO INPUT SET TO LR1

関連のコマンド.....#set_input

● #get_audio_input

出力中の音声入力を表示します。

構文.....#get_audio_input

パラメーター .....なし

構文例.....#get_audio_input

AUDIO INPUT SET TO LR1

関連のコマンド.....#set_output_res

ビデオ出力の解像度を設定します。

● #set_output_res

ビデオ出力解像度を設定します。デフォルト設定は HD(1080p) Auto Refresh です。

構文.....#set_output_res param1

パラメーター .....param1 .....解像度 [0 ... 26]

param1	説明	param1	説明
0	Auto-Detect	14	SD (480i) 60Hz
1	640x480 60Hz	15	SD (576i) 50Hz
2	800x600 60Hz	16	SD (480p) 60Hz
3	1024x768 60Hz	17	SD (576p) 50Hz
4	1280x768 60Hz	18	HD (720p) 60Hz
5	1280x800 60Hz	19	HD (720p) 50Hz
6	1280x1024 60Hz	20	HD (1080i) 60Hz
7	1360x768 60Hz	21	HD (1080i) 50Hz
8	1366x768 60Hz	22	HD (1080p) 60Hz
9	1440x900 60Hz	23	HD (1080p) 50Hz
10	1400x1050 60Hz	24	HD (1080p) 25Hz
11	1600x900 60Hz	25	HD (1080p) 24Hz
12	1680x1050 60Hz	26	HD (1080p) Auto Refresh
13	1920x1200 60Hz		

構文例.....#set_output_res 26

OUTPUT RESOLUTION SET TO HD (1080p) Auto Refresh

● #get_output_res

ビデオ出力の解像度を表示します。

構文.....#get_output_res

パラメーター .....なし

構文例.....#get_output_res

OUTPUT RESOLUTION IS HD (1080p) Auto Refresh

関連のコマンド.....#set_output_res

● #set_output_color

各出力のカラースペースを設定します。

構文.....#set_output_color param1 param2

パラメーター .....param1 .....ビデオ出力

param1	説明
1	Output 1 (HDMI 端子)
2	Output 2 (DVI 端子)

param2..... カラースペース

param2	説明
0	RGB 4:4:4
1	YCbCr 4:4:4
2	YCbCr 4:2:2

構文例.....#set_output_color 1 1

OUTPUT COLOR SPACE OF OUTPUT 1 SET TO YCBCR 444

関連のコマンド.....#set_output_mode

● #get_output_color

各出力のカラースペースの設定値を設定します。

構文.....#get_output_color

パラメーター .....param1 .....ビデオ出力

param1	説明
1	Output 1 (HDMI 端子)
2	Output 2 (DVI 端子)

構文例.....#get_output_color 2

OUTPUT COLOR SPACE OF OUTPUT 2 SET TO RGB 444

関連のコマンド.....#get_output_mode

● #set_output_mode

各出力の出力モードを設定します（音声、カラースペースオプション）。

構文.....#set_output_mode param1 param2

パラメーター .....param1 .....ビデオ出力

param1	説明
1	Output 1 (HDMI 端子)
2	Output 2 (DVI 端子)

param2..... 出力モード

param2	説明
hdmi	HDMI
dvi	DVI
auto	自動

構文例.....#set_output_mode 1 hdmi

OUTPUT MODE OF OUTPUT 1 SET TO HDMI

関連のコマンド.....#set_output_color

● #get_output_mode

各出力の出力モードを表示します。

構文.....#get_output_mode

パラメーター .....param1 .....ビデオ出力

param1	説明
1	Output 1 (HDMI 端子)
2	Output 2 (DVI 端子)

構文例.....#get_output_mode 1

OUTPUT MODE OF OUTPUT 1 SET TO HDMI

関連のコマンド.....#get_output_color

● #set_background_color

背景の色を設定します（ビデオソースがアクティブでない時）。

構文.....#set_background_color param1

パラメーター .....param1 .....色

param1	説明
0	青
1	黒

構文例.....#set_background_color 1

BACKGROUND COLOR SET TO BLACK

関連のコマンド.....#get_background_color

● #get_background_color

設定された背景の色を表示します。

構文.....#get_background_color

パラメーター .....なし

構文例.....#get_background_color

BACKGROUND COLOR SET TO BLACK

関連のコマンド.....#set_background_color

● #get_input_res

現在の入力解像度を表示します。

構文.....#get_input_res

パラメーター .....なし

構文例.....#get_input_res

INPUT RESOLUTION SET TO 1280x720p60 YCBCR 422

● #set_video_name

各ビデオ入力の Web GUI 名を設定します。

構文.....#set_video_name param1 param2

パラメーター .....param1 .....ビデオ入力

param1	説明
HDMI	HDMI 入力 (1)
DP	DisplayPort 入力 (2)
DVI	DVI 入力 (3)
VGA	VGA 入力 (4)
Comp	コンポジット (5)

param2..... 名前

構文例.....#set_video_name hdmi Blu-ray Player

HDMI INPUT NAME IS SET TO Blu-ray

関連のコマンド.....#get_video_name

● #get_video_name

各ビデオ入力の Web GUI 名を表示します。

構文.....#get_video_name param1

パラメーター .....param1 .....ビデオ入力

param1	説明
HDMI	HDMI 入力 (1)
DP	DisplayPort 入力 (2)
DVI	DVI 入力 (3)
VGA	VGA 入力 (4)
Comp	コンポジット (5)

構文例.....#get_video_name hdmi

HDMI INPUT NAME IS SET TO Video1

関連のコマンド.....#set_video_name

● #set_audio_name

各音声入力の Web GUI 名を設定します。

構文.....#set_audio_name param1 param2

パラメーター .....param1 .....音声入力

param1	説明
OPT	オプティカル入力
COAX	同軸入力
LR1	アナログステレオ入力 1
LR2	アナログステレオ入力 2

param2..... 名前

構文例.....#set_video_name hdmi Blu-ray Player

HDMI INPUT NAME IS SET TO Blu-ray

関連のコマンド.....#get_audio_name

● #get_audio_name

各音声入力の Web GUI 名を表示します。

構文.....#get_audio_name param1

パラメーター .....param1 .....音声入力

param1	説明
OPT	オプティカル入力
COAX	同軸入力
LR1	アナログステレオ入力 1
LR2	アナログステレオ入力 2

構文例.....#get_video_name hdmi

HDMI INPUT NAME IS SET TO Video1

関連のコマンド.....#set_audio_name

● #set_contrast

コントラストを設定します。

構文.....#set_contrast param1

パラメーター .....param1 .....[0 ... 100]

構文例.....#set_contrast 50

PICTURE CONTRAST SET TO 50

関連のコマンド.....#get_contrast

● #get_contrast

コントラストの設定値を表示します。

構文.....#get_contrast

パラメーター .....なし

構文例.....#get_contrast

PICTURE CONTRAST SET TO 0

関連のコマンド.....#set_contrast

● #set_brightness

ブライトネスを設定します。

構文.....#set_brightness param1

パラメーター .....param1 .....[0 ... 100]

構文例.....#set_brightness 50

PICTURE BRIGHTNESS SET TO 50

関連のコマンド.....#get_brightness

● #get_brightness

ブライトネスの設定値を表示します。

構文.....#get_brightness

パラメーター .....なし

構文例.....#get_brightness

PICTURE BRIGHTNESS SET TO 0

関連のコマンド.....#set_brightness

● #set_saturation

画像のサチュレーションを設定します。

構文.....#set_saturation param1

パラメーター .....param1 .....[0 ... 100]

構文例.....#set_saturation 50

PICTURE SATURATION SET TO 50

関連のコマンド.....#get_saturation

● #get_saturation

サチュレーションの設定値を表示します。

構文.....#get_saturation

パラメーター .....なし

構文例.....#get_saturation

PICTURE SATURATION SET TO 0

関連のコマンド.....#set_saturation

● #set_hue

色合いを設定します。

構文.....#set_hue param1

パラメーター .....param1 .....[0 ... 100]

構文例.....#set_hue 50

PICTURE HUE SET TO 50

関連のコマンド.....#set_hue

● #get_hue

色合いを表示します。

構文.....#get_hue

パラメーター .....なし

構文例.....#get_hue

PICTURE HUE SET TO 0

関連のコマンド.....#set_hue

● #set_color_range

色範囲を設定します。

構文.....#set_color_range param1

パラメーター .....param1 .....色範囲

param1	説明
0	Full
1	Limited

構文例.....#set_color_range 1

PICTURE COLOR RANGE SET TO LIMITED

関連のコマンド.....#get_color_change

● #get_color_range

色範囲を表示します。

構文.....#get_color_range

パラメーター .....なし

構文例.....#get_color_range

PICTURE COLOR RANGE SET TO LIMITED

関連のコマンド.....#set_color_change

● #set_color_temp

色温度を設定します。

構文.....#set_color_temp param1 param2

パラメーター .....param1 .....色温度 [0 ... 3]

param1	説明
0	Warm
1	Neutral
2	Cool
3	ユーザ設定

param2..... 色温度 [0 ... 100]

構文例.....#set_color_temp 0

PICTURE COLOR TEMP SET TO WARM

関連のコマンド.....#get_color_temp

● #get_color_temp

色温度の設定値を表示します。なお、デフォルト値は「50」となります。

構文.....#get_color_temp

パラメーター .....なし

構文例.....#get_color_temp

PICTURE COLOR TEMP SET TO NEUTRAL

関連のコマンド.....#set_color_temp

● #set_color_balance

画像のカラーバランスを設定します。色温度の設定が「USER」に選択された場合のみにこのコマンドを使用します。なお、各色チャンネルのデフォルト値は「50」となります。

構文.....#set_color_balance param1 param2

パラメーター .....param1 .....色チャンネル [0 ... 2]

param1	説明
0	赤チャンネル
1	緑チャンネル
2	青チャンネル

param2..... 色の値 [0 ... 100]

構文例.....#set_color_balance 0 45

PICTURE COLOR BALANCE RED CHANNEL SET TO 45

（色温度が「USER」に設定していない場合）:

#set_color_balance 0 45

COLOR TEMP IS NOT USER!!!

関連のコマンド.....#set_color_temp

#get_color_balance

● #get_color_balance

画像のカラーバランスの設定値を表示します。なお、各色チャンネルのデフォルト値は「50」となります。

構文.....#get_color_temp

パラメーター .....なし

構文例.....#get_color_balance 2

PICTURE COLOR BALANCE BLUE CHANNEL SET TO 50

関連のコマンド.....#set_color_balance

● #set_sharpness

画像のシャープネスを設定します。なお、デフォルト値は「50」となります。

構文.....#set_sharpness param1

パラメーター .....param1 .....シャープネス [0 ... 100]

構文例.....#set_sharpness 50

PICTURE SHARPNESS SET TO 50

関連のコマンド.....#get_sharpness

● #get_sharpness

画像のシャープネスの設定値を表示します。なお、フォルト値は「50」となります。

構文.....#get_sharpness

パラメーター .....なし

構文例.....#get_sharpness

PICTURE SHARPNESS SET TO 50

関連のコマンド.....#set_sharpness

● #set_input_hdcp

入力との HDCP の互換を有効 / 無効にします。なお、DVI と HDMI のいずれもデフォルト値は「On」です。

構文.....#set_input_hdcp param1 param2

パラメーター .....param1 .....ビデオ入力

param1	説明
hdmi	HDMI 入力
dvi	DVI 入力

param2..... ステータス [0 ... 1]

param2	説明
0	オフ
1	オン

構文例.....#set_input_hdcp hdmi 1

HDMI INPUT HDCP IS SET TO ON

● #get_input_hdcp

入力との HDCP の互換のステータスを表示します。

構文.....#set_input_hdcp param1

パラメーター .....param1 .....ビデオ入力

param1	説明
hdmi	HDMI 入力
dvi	DVI 入力

構文例.....#get_input_hdcp hdmi

HDMI INPUT HDCP IS SET TO ON

関連のコマンド.....#set_input_hdcp

● #set_uo_scan

アンダースキャン / オーバースキャンを設定します。なお、アンダースキャンとオーバースキャンのいずれのデフォルト値は「Off」となります。

構文.....#set_uo_scan param1 param2

パラメーター .....param1 .....アンダースキャン / オーバースキャン

param1	説明
U	アンダースキャン
O	オーバースキャン

param2..... スキャン% [0 ... 3]

param2	説明
0	オフ
1	3%
2	6%
3	9%

構文例.....#set_uo_scan O 2

OVERSCAN SET TO 6 %

関連のコマンド.....#get_uo_scan

● #get_uo_scan

アンダースキャン / オーバースキャンの設定値を表示します。

構文.....#set_input_hdcp param1

パラメーター .....なし

構文例.....#get_uo_scan

OVER/UNDERSCAN SET TO OFF

関連のコマンド.....#get_uo_scan

● #send_hpd

HPD（Hot Plug Detect）パルスを送信します。

構文.....#send_hpd param1

パラメーター .....param1 .....ビデオ入力

param1	説明
hdmi	HDMI 入力
dvi	DVI 入力
dp	DisplayPort 入力

構文例.....#send_hpd hdmi

HPD PULSE SENT

関連のコマンド.....#send_hpd hdmi

● #set_auto_size

VGA 入力の自動サイズ調整機能を設定します。

構文.....#set_auto_size

パラメーター .....なし

構文例.....#set_auto_size

VGA AUTO SIZE TRIGGERED

● #set_phase

VGA 入力の位相を設定します。なお、デフォルト値は「0」となります。

構文.....#set_phase param1

パラメーター .....param1 .....VGA 入力の位相　[0 ... 100]

構文例.....#set_phase 50

VGA PHASE SET TO 50

関連のコマンド.....#get_phase

● #get_phase

VGA 入力位相の設定値を表示します。

構文.....#get_phase

パラメーター .....なし

構文例.....#get_phase

VGA PHASE SET TO 0

● #set_h_position

VGA 入力の垂直位置を設定します。なお、デフォルト値は「0」となります。

構文.....#set_h_position param1

パラメーター .....param1 .....VGA 入力の垂直位置　[0 ... 100]

構文例.....#set_h_position 0

VGA HORIZONTAL POSITION SET TO 0

関連のコマンド.....#get_h_position

● #get_h_position

VGA 入力の垂直位置の設定値を表示します。

構文.....#get_h_position

パラメーター .....なし

構文例.....#get_h_position

VGA HORIZONTAL POSITION SET TO 0

● #set_v_position

VGA 入力の水平位置を設定します。なお、デフォルト値は「0」となります。

構文.....#set_v_position param1

パラメーター .....param1 .....VGA 入力の水平位置　[0 ... 100]

構文例.....#set_v_position 45

VGA VERTICAL POSITION SET TO 45

関連のコマンド.....#get_v_position

● #get_v_position

VGA 入力の水平位置の設定値を表示します。

構文.....#get_v_position

パラメーター .....なし

構文例.....#get_v_position

VGA VERTICAL POSITION SET TO 0

関連のコマンド.....#set_v_position

● #set_aspect_ratio

アスペクト比を設定します。なお、デフォルト値は「Source」となります。

構文.....#set_aspect_ratio param1

パラメーター .....param1 .....アスペクト比　[0 ... 3]

param1	説明
0	16:9
1	4:3
2	Stretch
3	Source（ソースのアスペクト比）

構文例.....#set_aspect_ratio 2

ASPECT RATIO SET TO STRETCH

関連のコマンド.....#get_aspect_ratio

● #get_aspect_ratio

アスペクト比の設定値を表示します。

構文.....#get_aspect_ratio
パラメーター .....なし
構文例.....#get_aspect_ratio
ASPECT RATIO SET TO SOURCE
関連のコマンド.....#set_aspect_ratio

● #set_mute

アナログと HDMI 出力の音声をミュート / ミュート解除します。なお、デフォルト値「Unmute」です。

構文.....#set_mute param1
パラメーター .....param1 .....音声ミュート　[0 ... 1]

param1	説明
0	ミュート解除
1	ミュート

構文例.....#set_mute 1
AUDIO IS SET TO MUTE
関連のコマンド.....#get_mute

● #get_mute

音声のミュートの設定値を表示します。

構文.....#get_mute
パラメーター .....なし
構文例.....#get_mute
AUDIO IS SET TO UNMUTE
関連のコマンド.....#set_mute

● #set_analog_vol

アナログ音声の出力レベルを設定します。なお、デフォルト値は「100」となります。

構文.....#set_analog_vol param1
パラメーター .....param1 .....出力レベル [0 ... 100]
構文例.....#set_analog_vol 50
ANALOG AUDIO VOLUME SET TO 50
関連のコマンド.....#get_analog_vol

● #get_analog_vol

アナログ音声の出力レベルの設定値を表示します。

構文.....#get_analog_vol
パラメーター .....なし
構文例.....#get_analog_vol
ANALOG AUDIO VOLUME SET TO 100
関連のコマンド.....#set_mute

● #set_analog_out

アナログ出力を有効 / 無効にします。

構文.....#set_ analog _out param1
パラメーター .....param1 .....アナログ出力レベルのステータス [0 ... 1]

param1	説明
0	オフ
1	オン

構文例.....#set_analog_out 1
ANALOG AUDIO OUTPUT IS SET TO ON
関連のコマンド.....#get_analog_out

● #get_ analog _out

Get analog output status

構文.....#get_analog_out
パラメーター .....なし
構文例.....#get_analog_out
ANALOG AUDIO IS SET TO ON
関連のコマンド.....#set_analog_out

● #set_analog_mode

アナログ音声出力のモードを設定します。なお、デフォルト値は「Fixed」となります。

構文.....#set_analog_mode param1
パラメーター .....param1 .....アナログ音声出力モード　[0 ... 1]

param1	説明
0	Fixed
1	Variable

構文例.....#set_analog_mode 1
ANALOG AUDIO IS SET TO VARIABLE
関連のコマンド.....#get_analog_mode

● #get_analog_mode

アナログ音声出力モードを表示します。

構文.....#get_analog _mode
パラメーター .....なし
構文例.....#get_analog_mode
アナログ AUDIO OUTPUT IS SET TO FIXED
関連のコマンド.....#set_analog_mode

● #set_audio_link

ビデオ入力に割り当てられる音声ソースを設定します。なお、「VGA」または「Comp」ビデオソースが選択された場合、音声を「Source」に選択することができません。

ビデオ入力デフォルト音声	
HDMI	ソース (HDMI)
DP	ソース (ディスプレイポート)
DVI	オプティカル
VGA	LR1
Comp	LR2

構文.....#set_audio_link param1 param2
パラメーター .....param1　ビデオ入力

param1	説明
HDMI	HDMI 入力 (1)
DP	DisplayPort 入力 (2)
DVI	DVI 入力 (3)
VGA	VGA 入力 (4)
Comp	コンポジット入力 (5)

param2　割り当てられた音声入力

param2	説明
ソース機器	デジタルビデオのエンベンデッド音声 (HDMI/DP/DVI のみ)
Opt	オプティカル音声入力
Coax	同軸音声入力
LR1	アナログステレオ音声入力 1
LR2	アナログステレオ音声入力 2
Off	音声なし（ミュート）
NC	変更なし（現在の音声入力ソースを維持）

構文例.....#set_audio_link hdmi opt
HDMI AUDIO LINKED TO OPT
AUDIO IS SET TO UNMUTE
#set_audio_link hdmi off
HDMI AUDIO LINKED TO OFF
AUDIO IS SET TO MUTE

● #get_audio_link

割り当てられる音声ソース設定のステータスを表示します。

構文.....#get_audio_link param1

パラメーター .....param1　ビデオ入力

param1	説明
HDMI	HDMI 入力 (1)
DP	DisplayPort 入力 (2)
DVI	DVI 入力 (3)
VGA	VGA 入力 (4)
Comp	コンポジット (5)

構文例.....#get_audio_link hdmi

HDMI AUDIO LINKED TO SOURCE

#get_audio_link DVI

DVI AUDIO LINKED TO OPT

関連のコマンド.....#set_audio_link

● #set_edid

EXT-MFP が使用する EDID を設定します。パラメーター 2 はパラメーター 1 の設定値によって変わります。また、パラメーター 4 はパラメーター 3 の設定値によって変わります。

構文.....#set_edid param1 param2 param3 param4

パラメーター .....param1 .....ソースのタイプ

param1	説明
INT	内部 EDID
BANK	EDID バンク
INPUT	HDMI/DP/DVI/VGA 入力
OUTPUT	HDMI/DVI 出力

param2..... ソース

Param2	説明
0…7	内部 EDID ＊ (param1 は必ず「INT」に設定)
1…8	EDID バンク (param1 は必ず「BANK」に設定)
HDMI, DP DVI, VGA	入力の EDID (param1 は必ず「INPUT」に設定)
HDMI, DVI	表示機器の EDID (param1 は必ず「OUTPUT」に設定)

＊内部 EDID については次ページをご参照下さい。

param3..... 対象のタイプ

param3	説明
INPUT	内部 EDID
BANK	EDID バンク

param4..... 対象の番号

param4	説明
HDMI, DP DVI, VGA	入力の EDID (param3 は必ず「INPUT」に設定)
1 ... 8	EDID バンク 1 ～ 8 (param3 は必ず「BANK」に設定)

構文例.....#set_edid int 3 input hdmi

INTERNAL EDID 3 IS SAVED TO INPUT HDMI

#set_edid bank 1 bank 3

BANK EDID 1 IS SAVED TO BANK 3

Notes

Param2　内部 EDID の詳細			
1	DVI 1080p	5	ディスプレイポート 2ch 1080p
2	HDMI 2ch 720p	6	ディスプレイポート マルチチャンネル 1080p
3	HDMI 2ch 1080p	7	VGA 1080p
4	HDMI マルチチャンネル 1080p		

デフォルト EDID 設定			
HDMI	内部	2 チャンネル	1080p
ディスプレイポート	内部	2 チャンネル	1080p
DVI	内部	N/A	1080p
VGA	内部	N/A	1080p

● #set_bank_name

各 EDID のウェブ GUI の名前を設定します。

構文.....#set_bank_name param1 param2

パラメーター .....param1 .....バンク番号 [1 ... 8]

param2..... 名前

構文例.....#set_bank_name 1 Gefen_EDID

EDID BANK 1 NAME IS SET TO Gefen_EDID

#set_bank_name 2 Fitzy's_EDID

EDID BANK 2 NAME IS SET TO Fitzy's_EDID

#set_bank_name 3 Projector

EDID BANK 3 NAME IS SET TO Projector

関連のコマンド.....#get_bank_name

● #get_bank_name

各 EDID バンクのウェブ GUI の名前を表示します。

構文.....#get_bank_name param1

パラメーター .....param1 .....バンク番号　[1 ... 8]

構文例.....#get_bank_name 1

EDID BANK 1 NAME IS Bank_1

#get_bank_name 8

EDID BANK 8 NAME IS Bank_8

関連のコマンド.....#set_bank_name

● #get_ipconfig

現在の IP 設定を表示します。

構文.....#get_ipconfig

パラメーター .....なし

構文例.....#get_ipconfig

IP CONFIGURATION IS:

(DHCP)

IP : 10.5.64.223

NETMASK : 255.255.255.0

GATEWAY : 10.5.64.1

MAC ADDRESS = 00:1c:91:04:50:13

関連のコマンド.....#get_ipconfig

● #set_ipmode

IP モードを「DHCP」または「Static」に設定します。なお、デフォルト設定値は「DHCP」となります。

構文.....#set_ipmode param1
パラメーター .....param1 .....IP 設定モード　[0 ... 1]

param1	説明
0	DHCP
1	Static

構文例.....#set_ipmode 1
IP MODE SET TO STATIC
A REBOOT IS REQUIRED TO APPLY CHANGES
関連のコマンド.....#get_ipmode

● #get_ipmode

現在の IP モードを表示します。

構文.....#get_ipmode
パラメーター .....なし
構文例.....#get_ipmode
IP MODE SET TO DHCP

#get_ipmode
IP MODE SET TO STATIC
関連のコマンド.....#set_ipmode

● #set_ipadd

EXT-MFP の IP アドレスを設定します。アドレスを入力する際に必ずドットを使ってください。また、このコマンドを実行した後は必ず EXT-MFP 本体をリブートしてください。なお、デフォルトの IP アドレスは「192.168.1.72」となります。

構文.....#set_ipadd param1
パラメーター .....param1 .....IP アドレス
構文例.....#set_ipadd 10.5.64.26
関連のコマンド.....#get_ipadd

● #get_ipadd

EXT-MFP の IP アドレスを表示します。

構文.....#get_ipadd
パラメーター .....なし
構文例.....#get_ip
IP ADDRESS IS : 192.168.1.72
関連のコマンド.....#set_ipadd

● #set_netmask

サブネットマスクを設定します。アドレスを入力する際に必ずドットを使ってください。また、このコマンドを実行した後は必ず EXT-MFP 本体をリブートしてください。なお、デフォルトの IP アドレスは「255.255.255.0」となります。

構文.....#set_netmask param1
パラメーター .....param1 .....Subnet mask
構文例.....#set_netmask 255.255.255.0
NETMASK ADDRESS IS : 255.255.255.0
PLEASE REBOOT THE UNIT TO APPLY CHANGES
関連のコマンド.....#get_netmask

● #get_netmask

現在のサブネットマスクのアドレスを表示します。

構文.....#get_netmask
パラメーター .....なし
構文例.....#get_netmask
NETMASK ADDRESS IS : 255.255.255.0
関連のコマンド.....#set_netmask

● #set_gateway

ゲートウェイのアドレスを設定します。アドレスを入力する際に必ずドットを使ってください。また、このコマンドを実行した後は必ず EXT-MFP 本体をリブートしてください。なお、デフォルトの IP アドレスは「192.168.1.254」となります。

構文.....#set_gateway param1
パラメーター .....param1 .....IP アドレス
構文例.....#set_gateway 192.168.25.254
GATEWAY ADDRESS IS : 192.168.25.254
PLEASE REBOOT THE UNIT TO APPLY CHANGES
関連のコマンド.....#get_gateway

● #get_gateway

現在のゲートウェイのアドレスを表示します。

構文.....#get_gateway
パラメーター .....なし
構文例.....#get_gateway
GATEWAY ADDRESS IS : 192.168.1.254
関連のコマンド.....#set_gateway

● #set_http_port

ウェブサーバのリスニングポートを指定します。このコマンドを実行した後は必ず EXT-MFP 本体をリブートしてください。なお、デフォルトポートは「80」となります。「#show_http_port」コマンドを使用して現在の HTTP リスニングポートを表示します。

構文.....#set_http_port param1
パラメーター .....param1 .....ポート [1 ... 1024]
構文例.....#set_http_port 81
HTTP COMMUNICATION PORT 81 IS SET
PLEASE REBOOT THE UNIT TO APPLY CHANGES
関連のコマンド.....#get_http_port

● #get_http_port

現在の HTTP リスニングポートを表示します。

構文.....#get_ip
パラメーター .....なし
構文例.....#get_http_port
HTTP COMMUNICATION PORT IS 80
関連のコマンド.....#set_http_port

● #set_telnet_enable

Telnet へのアクセスを有効 / 無効にします。なお、デフォルト設定は「Enabled」となります。

構文.....#set_telnet_enable param1
パラメーター .....param1 .....ステータス　[0 ... 1]

param1	説明
0	無効
1	有効

構文例.....#set_telnet_enable 1
TELNET ACCESS IS ENABLED
関連のコマンド.....#get_telnet_enable

● #get_telnet_enable

現在の Telnet アクセスのステータスを表示します。

構文.....#get_telnet_enable
パラメーター .....なし
構文例.....#get_telnet_enable
TELNET ACCESS IS ENABLED
関連のコマンド.....#set_telnet_enable

● #set_telnet_port

Telnet 通信ポートのアドレスを設定します。なお、デフォルトポートは「23」となります。

構文.....#set_telnet_port param1
パラメーター .....param1 .....Telnet ポートアドレス [0 ... 1024]
構文例.....#set_telnet_port 23
TELNET COMMUNCATION PORT 23 IS SET
PLEASE REBOOT THE UNIT.
関連のコマンド.....#get_telnet_port

● #get_telnet_port

現在の Telnet 通信ポートアドレスを表示します。

構文.....#get_telnet_port
パラメーター .....なし
構文例.....#get_telnet_port
TELNET COMMUNCATION PORT IS 23
関連のコマンド.....#set_telnet_port

● #set_use_telnet_pass

Telnet のパスワード保護を有効 / 無効にします。なお、デフォルト設定は「Disabled」となります。

構文.....#set_use_telnet_pass param1
パラメーター .....param1 .....Telnet パスワード [0....1]

param1	説明
0	パスワードを無効
1	パスワードを有効

構文例.....#set_use_telnet_pass 0
TELNET INTERACE PASSWORD IS DISABLED
関連のコマンド.....#get_use_telnet_pass

● #get_use_telnet_pass

Telnet のパスワードのステータスを表示します。

構文.....#get_use_telnet_pass
パラメーター .....なし
構文例.....#get_use_telnet_pass
TELNET INTERACE PASSWORD IS DISABLED
関連のコマンド.....#set_use_telnet_pass

● #set_telnet_welcome

Telnet のウェルカム画面を有効 / 無効にします。

構文.....#set_telnet_welcome param1
パラメーター .....param1 .....Telnet のウェルカム画面 [0 ... 1]

param1	説明
0	Telnet のウェルカム画面を無効
1	Telnet のウェルカム画面を有効

構文例.....#set_telnet_welcome 0
TELNET WELCOME SCREEN IS DISABLED
関連のコマンド.....#get_telnet_welcome

● #get_telnet_welcome

Telnet のウェルカム画面のステータスを表示します。

構文.....#get_telnet_welcome
パラメーター .....なし
構文例.....#get_telnet_welcome
TELNET WELCOME SCREEN IS ENABLED
関連のコマンド.....#set_telnet_welcome

● #set_udp_port

UDP 通信ポートのアドレスを設定します。なお、デフォルトポートは「50007」となります。

構文.....#set_udp_port param1
パラメーター .....param1 .....UDP ポートアドレス [1 ... 65535]
構文例.....#set_udp_port 50007
UDP COMMUNICATION PORT 50007 IS SET
PLEASE REBOOT THE UNIT
関連のコマンド.....#get_udp_port

● #get_udp_port

現在の UDP 通信ポートのアドレスを表示します。

構文.....#get_udp_port
パラメーター .....なし
構文例.....#get_udp_port
UDP SERVER PORT IS 50007
関連のコマンド.....#set_udp_port

● #set_remote_udp_enable

リモート UDP へのアクセスを有効 / 無効にします。

構文.....#set_remote_udp_enable param1
パラメーター .....param1 .....ステータス [0 ... 1]

param1	説明
0	リモート UDP へのアクセスを無効
1	リモート UDP へのアクセスを有効

構文例.....#set_remote_udp_enable 1
REMOTE UDP IS ENABLED
関連のコマンド.....#get_remote_udp_enable

● #get_remote_udp_enable

リモート UDP アクセスのステータスを表示します。

構文.....#get_remote_udp_enable
パラメーター .....なし
構文例.....#get_remote_udp_enable
REMOTE UDP ACCESS IS ENABLED
関連のコマンド.....#set_remote_udp_enable

● #set_udp_remote_ip

リモート UDP IP アドレスを設定します。アドレスを入力する際に必ずドットを使ってください。また、このコマンドを実行した後は必ず EXT-MFP 本体をリブートしてください。なお、デフォルト UDP リモート IP アドレスは「192.168.1.129」となります。

構文.....#set_udp_remote_ip param1
パラメーター .....param1 .....IP アドレス
構文例.....#set_udp_remote_ip 192.168.1.129
UDP REMOTE IP ADDRESS : 192.168.1.129

● #get_udp_remote_ip

リモート UDP IP アドレスを表示します。

構文.....#get_udp_remote_ip
パラメーター .....なし
構文例.....#get_udp_remote_ip
UDP REMOTE IP ADDRESS : 192.168.1.129
関連のコマンド.....#set_udp_remote_ip

● #set_udp_remote_port

リモート UDP 通信ポートのアドレスを設定します。なお、デフォルトポートは「50008」となります。

構文.....#set_udp_remote_port param1
パラメーター .....param1 .....ポート [1 ... 65535]
構文例.....#set_udp_remote_port 50008
UDP REMOTE PORT IS 50008
関連のコマンド.....#get_udp_remote_port

● #get_udp_remote_port

現在のリモート UDP 通信ポートのアドレスを表示します。

構文.....#get_udp_remote_port
パラメーター .....なし
構文例.....#get_udp_remote_port
UDP REMOTE PORT IS 50008
関連のコマンド.....#set_udp_remote_port

● #set_udp_enable

UDP へのアクセスを有効 / 無効にします。なお、デフォルト設定は「Enabled」となります。

構文.....#set_udp_enable param1
パラメーター .....param1 .....ステータス [0 ... 1]

param1	説明
0	UDP アクセスを無効
1	UDP アクセスを有効

構文例.....#set_udp_enable 1
UDP ACCESS IS ENABLED
関連のコマンド.....#get_udp_enable

● #get_udp_enable

現在の Telnet 通信ポートのアドレスを表示します。

構文.....#get_udp_enable
パラメーター .....なし
構文例.....#get_udp_enable
UDP ACCESS IS ENABLED
関連のコマンド.....#set_udp_enable

● #set_webui_ad_pass

ウェブインターフェースの「Administrator」パスワードを設定します。パスワードに大文字と小文字を区別しります。文字数は最大 7 桁まで対応します。なお、デフォルト設定値は「Admin」となります。

構文.....#set_webui_ad_pass param1
パラメーター .....param1 .....パスワード
構文例.....#set_webui_ad_pass b055man
WEB UI ADMINISTRATOR PASSWORD IS SET b055man
関連のコマンド.....#set_webui_op_pass

● #set_webui_op_pass

ウェブインターフェースの「Operator」パスワードを設定します。パスワードに大文字と小文字を区別しります。文字数は最大 7 桁まで対応します。なお、デフォルト設定値は「Admin」となります。

構文.....#set_webui_op_pass param1
パラメーター .....param1 .....パスワード
構文例.....#set_webui_op_pass m1niOn
WEB UI OPERATOR PASSWORD IS SET m1niOn
関連のコマンド.....#set_webui_ad_pass

● #set_discovery

ディスカバリーサービス（Gefen Syner-G Discovery Tool）を有効 / 無効にします。なお、デフォルト値は「Enabled」となります。

構文.....#set_discovery param1
パラメーター .....param1 .....ステータス [0 ... 1]

param1	説明
0	ディスカバリーを無効
1	ディスカバリーを有効

構文例.....#set_discovery 1
DISCOVERY SERVICE IS ENABLED
関連のコマンド.....#get_discovery

● #get_discovery

ディスカバリーサービスのステータスを表示します。

構文.....#get_discovery
パラメーター .....なし
構文例.....#get_discovery
DISCOVERY SERVICE IS ENABLED
関連のコマンド.....#set_discovery

● #set_showme

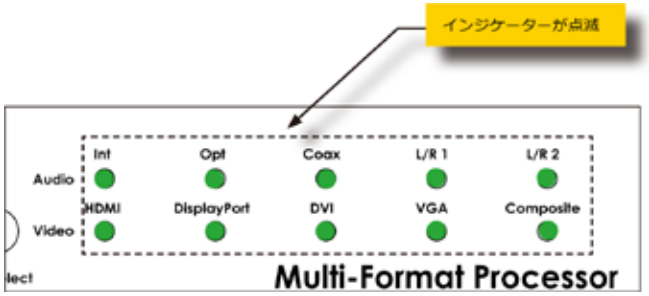
「Show Me」機能を有効 / 無効にします。「Show Me」機能を有効にすると、フロントパネルにある全てのインジケーターは点滅します。特にシステムに複数台が存在する場合、区別する上で大変便利な機能です。なお、デフォルト設定は「Off」となります。

構文.....#set_showme param1
パラメーター .....param1 .....ステータス [0 ... 1]

param1	説明
0	「Show Me」を無効
1	「Show Me」を有効

構文例.....#set_showme 1
SHOWME IS ON

#set_showme 0
SHOWME IS OFF



関連のコマンド.....#get_discovery

● #set_discovery_mode

ディスカバリの読込み / 書込みモードを設定します。

構文.....#set_discovery_mode param1
パラメーター .....param1 .....ステータス [0 ... 1]

param1	説明
0	読込み / 書込み
1	読込みのみ

構文例.....#set_discovery_mode 1
DISCOVERY MODE READ ONLY

#set_discovery_mode 0
DISCOVERY MODE READ/WRITE
関連のコマンド.....#set_discovery、#get_discovery

● #get_discovery_mode

ディスカバリの読込み / 書込みモードのステータスを表示します。

構文.....#get_discovery_mode
パラメーター .....なし
構文例.....#get_discovery_mode
DISCOVERY MODE 0
関連のコマンド.....#set_discovery_mode

● #set_device_descr

EXT-MFP の名前を設定します。特にシステムに複数台が存在する場合、区別する上で大変便利な機能です。名前は最大 12 桁まで対応します。

構文.....#set_device_descr param1
パラメーター .....param1 .....EXT-MFP の名前
構文例.....#set_device_desc Conf Rm 1
DEVICE DESRIPTION NAME IS SET TO Conf Rm 1
関連のコマンド.....#get_device_descr

● #get_device_desc

EXT-MFP の名前を表示します。

構文.....#get_device_desc
パラメーター .....なし
構文例.....#get_device_desc
DEVICE DESRIPTION NAME IS SET TO EXT-MFP
関連のコマンド.....#set_device_desc

● #set_osd_timeout

オンスクリーン表示時間を設定します。なお、デフォルト設定値は 5 秒です。

構文.....#set_osd_timeout param1
パラメーター .....param1 .....表示時間（単位：秒）[0, 5 ... 60]

param1	説明
0	オフ
5 ... 60	表示解除までの秒数

構文例.....#set_osd_timeout 0
OSD TIMEOUT IS SET TO OFF

#set_osd_timeout 60
OSD TIMEOUT IS SET TO 60
関連のコマンド.....#get_osd_timeout

● #get_osd_timeout

オンスクリーン表示時間の設定値を表示します。

構文.....#get_osd_timeout
パラメーター .....なし
構文例.....#get_osd_timeout
OSD TIMEOUT IS SET TO 5
関連のコマンド.....#set_osd_timeout

● #set_display_notify

オンスクリーンの表示時間を設定します。ビデオソース機器を変更すると、このウィンドウが表示され、ソースの解像度を知らせます。なお、デフォルト設定値は 5 秒となります。

構文.....#set_display_notify param1
パラメーター .....param1 .....表示期間（単位：秒）[0 ... 2]

param1	説明
0	5 秒
1	オフ
2	オン

構文例.....#set_display_notify 0
DISPLAY NOTIFICATIONS SET TO 5 SECONDS
関連のコマンド.....#get_display_notify

● #get_display_notify

現在のオンスクリーン表示の表示時間の設定値を表示します。

構文.....#get_display_notify
パラメーター .....なし
構文例.....#get_display_notify
DISPLAY NOTIFICATIONS SET TO 5 SECONDS
関連のコマンド.....#set_display_notify

● #set_feedback

フィードバック機能を有効 / 無効にします。なお、デフォルト値は「On」となります。

構文.....#set_feedback param1
パラメーター .....param1 .....ステータス [0 ... 1]

param1	説明
0	無効
1	有効

構文例.....#set_feedback 1
FEEDBACK IS ON

Notes

- RS-232、ウェブ GUI、IR リモコン、リレーまたはフロントパネルのボタン経由でいかなるステータスを変更した際にフィードバックは送られます。
- フィードバックは「#get_feedback」コマンドと同じです。
- 「#set_feedback」コマンドより、フィードバック機能を無効にできます。

● #get_feedback

RS-232 フィードバックのステータスを表示します。なお、デフォルト値は「On」となります。

構文.....#get_feedback
パラメーター .....なし
構文例.....#get_feedback
FEEDBACK IS ON
関連のコマンド.....#set_feedback

● #get_firmware_version

ファームウェアバージョンを表示します。

構文.....#get_firmware_version
パラメーター .....なし
構文例.....#get_firmware_version
FIRMWARE VERSION IS 1.1

● #set_ir_channel

本体の IR チャンネルを設定します。なお、デフォルト設定は「1」となります。ウェブインターフェースの 38 ページ「● System」にて IR チャンネルを変更することが可能です。

構文.....#set_ir_channel param1

パラメーター .....param1 .....IR チャンネル [1 ... 4]

param1	説明
1	チャンネル 1
2	チャンネル 2
3	チャンネル 3
4	チャンネル 4

構文例.....#set_ir_channel 3

IR CHANNEL IS SET TO 3

関連のコマンド.....#get_ir_channnel

● #get_ir_channel

現在の IR チャンネルの設定値を表示します。

構文.....#get_ir_channel

パラメーター .....なし

構文例.....#get_ir_channel

IR CHANNEL IS SET TO 1

関連のコマンド.....#set_ir_channnel

● #factory_reset

本体を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

このコマンドでは、IP アドレスが "Static"192.168.1.72 にリセットされるため、IP アドレスを変更していた場合は、ネットワークから切断されます。Gefen Syner-G Discovery tool を使用して本機を検出し、新たにネットワークの設定を行ってください。

パラメーター .....なし

構文例.....#factory_reset

UNIT IS SET TO FACTORY DEFAULTS
EXT-MFP FW V1.38
FACTORY DEFAULT NOT BY WEBGUI
IP: 192.168.1.72
Netmask: 255.255.255.0
Gateway: 192.168.1.1

● #reboot

本体を再起動します。

構文.....#reboot

パラメーター .....なし

構文例.....#reboot

DEVICE HAS BEEN REBOOTED

◆付録

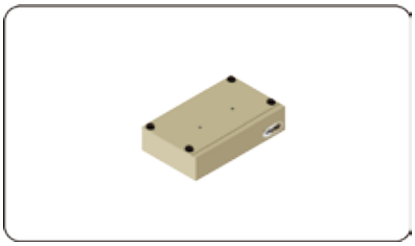
■デフォルト設定

メニュー	オプション	サブ・オプション	設定
Output Setup	Resolution	---	1080p60
	Colorspace	Output1	RGB4:4:4
		Output2	RGB4:4:4
	Mode	Output1	Auto Detect
		Output2	Auto Detect
	Background Color	---	Blue
Picture	Contrast	---	50
	Brightness	---	50
	Saturation	---	50
	Hue	---	50
	Range	---	Limited
	Color Temp(VGA Only)	---	Neutral
	Balance(VGA Only)	Red	50
		Green	50
		Blue	50
	Sharpness	---	0
Adjust	Auto Size(VGA Only)	---	---
	Phase(VGA Only)	---	50
	V Position(VGA Only)	---	0
	H Position(VGA Only)	---	50
	Under/Over Scan	---	Off
	Aspect Ratio	---	Source
	HDCP	---	On
	Send HPD Pulse	---	---
Audio	Analog Out	---	On
	Analog Mode	---	Fixed
	HDMI Link	---	Internal
	DisplayPort Link	---	Internal
	DVI Link	---	Optional
	VGA Link	---	L/R1
	Composite Link	---	L/R2
Network	IP Mode	---	Static
	IP Address	---	192.168.1.72
	Subnet Mask	---	255.255.255.0
	Default Gateway	---	192.168.1.1
	HTTP Port	---	80
	Telnet	---	Enable
	Telnet Port	---	23
	UDP	---	Disable
	UDP Port	---	50007
	Remote UDP	Access	Disable
		IP Address	192.168.1.255
		Port	50008
	Discovery	---	On
System	OSD	---	5 sec
	Display Notify	---	5 sec
	Low Power	---	IP Off
	Set Feedback	---	On
	Input Res. Info	---	---
	Firmware Version	---	---
	IR Channel	---	1
	Factory Reset	---	---

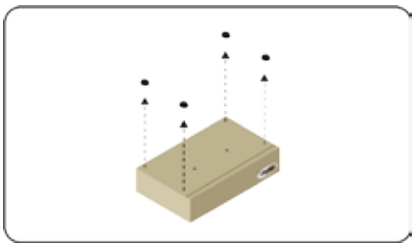
■ラックマウントの設置方法

EXT-MFP を別売の 1U ラックマウントトレー（型番：EXT-RACK-1U）に取り付ける手順について、以下のイラストをご参照下さい。

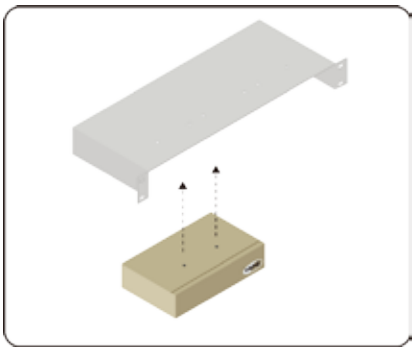
手順 1　本体を裏返します。



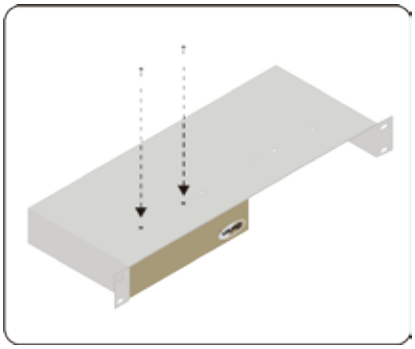
手順 2　４つのゴム足を取り外します。



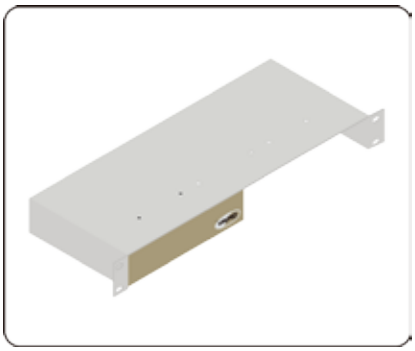
手順 3　トレーと本体のねじ穴の位置を合わせます。



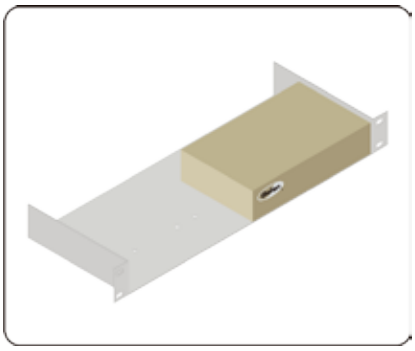
手順 4　ねじを締め、本体をトレーに取り付けます。



手順５　本体がしっかり固定されていることを確認します。



手順６　取付け作業は終了です。



■仕様

ビデオ入力	VGA(15 ピン、メス) × 1
	DisplayPort(20 ピン、メス) × 1
	DVI-I、29 ピン、メス（デジタルのみ）× 1
	VGA (HD-15、メス) × 1
	コンポジット (RCA タイプ、メス) × 1
ビデオ出力	HDMI(Type A、19 ピン、メス) × 1
	DVI-I(29 ピン、メス、デジタルのみ）× 1
音声入力	3.5mm ステレオミニ× 2
	TOSLINK(メス) × 1
	S/PIDF(RCA、メス) × 1
音声出力	RCA タイプ× 2
USB	Mini-B タイプ× 1
IR 受光部	フロントパネルに装備
IR 延長	3.5mm ステレオミニ× 1
リレー	Phoenix(6 ピン) × 1
IP	RJ-45 × 1
RS-232	DB-9(メス) × 1
入力選択ボタン	プッシュタイプ× 1
電源 / スタンバイボタン	1 プッシュタイプ× 1
電源 / スタンバイインジケーター	1LED(青 / 赤) × 1
ビデオ入力インジケーター	LED(緑) × 5
音声入力インジケーター	LED(緑) × 5
電源端子	3 ピン× 1
最大ピクセルクロック	165 MHz
最大 TMDS クロック	225 MHz
電源	12V DC
消費電力	最大 8.5W
動作温度	0 ～ +50 ° C
動作湿度	5% ～ 90% RH、結露なきこと
保存温度	-20 ～ +85 ° C
保存湿度	0% ～ 95% RH、結露なきこと
MTBF	50000 時間
寸法（W × H × D）	213mm × 41mm × 216mm
質量	1.5kg

●この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
●この取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。

HIBINO
ヒビノインターサウンド株式会社
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12 TEL: 03-5783-3880 FAX: 03-5783-3881
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp http://www.hibino-intersound.co.jp/